

ibi™ WebFOCUS®

リリースノート/新機能ガイド

Version 9.3.4 | 2025 年 5 月

Disclaimer

この製品ドキュメントの正式なバージョンは英語版です。英語以外のすべてのバージョンは、お客様の利便性のためにのみ提供され、機械翻訳された内容が含まれている場合があります。詳しくは、<https://www.cloud.com/legal>で機械翻訳に関する免責事項 (Machine Translation Disclaimer) をご覧ください。

Contents

Contents	2
バージョン 9.3.4	5
リリースおよび Gen 情報	5
新機能	5
機能変更	7
クローズされた問題	7
バージョン 9.3.3	9
リリースおよび Gen 情報	9
新機能	9
プラットフォームサポートの変更点	10
修正済み問題	11
バージョン 9.3.2	15
リリースおよび Gen 情報	15
新機能	15
機能の変更	17
移行と互換性	17
修正済み問題	18
バージョン 9.3.1	25
リリースおよび Gen 情報	25
新機能	25
機能の変更	26
修正済み問題	26
バージョン 9.3.0	29

リリースおよびGen情報	29
新機能	29
機能の変更点	44
移行と互換性	45
修正済み問題	45
非推奨機能	89
削除された機能	90
既知の問題	92
リリース情報	93
ブラウザ情報	93
ibi WebFOCUS のアクセシビリティ準拠	95
アクセシビリティのサポート 基準	96
適合ステータス	96
アクセシビリティ機能の範囲	97
テクノロジー仕様	98
制限事項	98
ibi WebFOCUS Client でサポートされるオペレーティングシステム	99
ibi WebFOCUS での Java Platform、Standard Edition (Java SE) のサポート	101
サポート対象の Web サーバおよび Application Server	102
ibi WebFOCUS Client リポジトリでサポート対象の RDBMS およびドライバ	102
ローカリゼーション (NLV) および NLS の制限事項	106
国際言語サポート (NLS)	106
ローカライズ版のサポート (NLV)	106
ibi WebFOCUS および WebFOCUS Reporting Server	106
言語	108
ibi WebFOCUS Client および WebFOCUS® ReportCaster	110
ibi WebFOCUS レポート および Microsoft Office のサポート	111
ibi WebFOCUS レポートフォーマット および Microsoft 製品との関連付け	111

ibi WebFOCUS の EXL2K、PPT フォーマット および Microsoft Office 製品 のサポ ート	112
Microsoft Office 2003 のサポート	112
ibi WebFOCUS EXL2K および PPT フォーマット と Microsoft Office Viewer 製品 の サポート	113
Microsoft Office 365 のサポート	113
ハイパーリンクを使用してレポートを実行する際の注意 事項	114
ibi WebFOCUS の DOC フォーマット	114
推奨読書	114
Legal and Third-Party Notices	116

バージョン 9.3.4

ここでは、ibi™ WebFOCUS® の上記のバージョンについて、必要な情報を提供します。

このマニュアルのオンラインバージョンおよびこのバージョンについての詳細は、[IBI WebFOCUS 製品ドキュメントサイト](#)にアクセスし、[Documentation] タブから製品グループへのリンクを選択してください。

リリースおよび Gen 情報

リリース日	Gen 情報	WebFOCUS Reporting Server
2025年 5月	wf042825b wi042825b as042925a	934 Gen 2980

新機能

ibi™ WebFOCUS®の今回のリリースで追加された新機能は、次のとおりです。

- サポートされているSQLアダプターのデータソースの改善

サポートされているすべてのSQLアダプターには、次のデータソースの改善が含まれています。

- SQLアダプターのパフォーマンスを向上させるために、生成されたsqlが次の関数に対して改善されました。
 - DTPART(WEEK)
 - DTRUNC(WEEK|WEEK_END)
 - DTDIFF(WEEK)

- 新しい **ENGINE** 設定が作成され、WEEKFIRST パラメーターを使用できるようになりました。ONに設定すると、WEEKFIRSTパラメーターを使用して、次の関数が最適化されます。

- DTPART(WEEK)
- DTRUNC(WEEK|WEEK_END)
- DTDIFF(WEEK)

OFFに設定すると、これらの関数の最適化はアダプター固有になります。

この設定は、プロシジャレベルでローカルに、またプロファイルでグローバルに実装して、生成されたsqlを改善できます。これは、次の構文を使用して有効になります。

```
ENGINE <engine> SET FEATOPT WEEKFIRST ON
```

- **WebFOCUS ReportCasterの出力言語オプション**

WebFOCUS ReportCasterの[タスクの詳細設定]にある[出力レポートのロケール]ドロップダウンオプションを使用すると、出力言語を上書きできます。詳細については、*ibi™ WebFOCUS® ReportCasterガイド*を参照してください。

- **Red Hat Enterprise Linux (RHEL) のサポート**

ibi™ WebFOCUS® DSML Servicesでは、nginx 構成が Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 9 でサポートされるようになりました。

- **ibi™ WebFOCUS® Designerのオブジェクト・アクセス・コントロール**

ibi™ WebFOCUS® DesignerのSQL 構築プロセスについて、ユーザーのロールと認証に基づいてオブジェクト・アクセス・コントロールが強化されます。

- **データをロードせずにアップロードを終了する**

WebFOCUS Reporting Serverコンソールで、[ロード]ボタンをクリックせずに **データのアップロード**]ウィンドウを終了すると、警告メッセージが表示されるようになりました。

- **Kerberos による代替ユーザー認証のサポート**

Kerberos 認証で Reporting Server にアクセスするスケジュールでは、Reporting Server に接続する際に、代替認証方式が必要になりました。構成の詳細については、*ibi™ WebFOCUS® Security and Administration*の「Configuring Support for ReportCaster for Kerberos」セクションを参照してください。

機能変更

このibi™ WebFOCUS®のリリースでは、次の機能が変更されました。

日付形式の変更: 組み立てられたページフィルターでは、カレンダーフィルターコントロールの日付形式が、完全にスペルアウトされた形式 (たとえば「2025年1月2日」) から、短い数値形式 (たとえば、米国のロケールでは「1/2/2025」、ほとんどのヨーロッパのロケールでは「2/1/2025」) に変更されました。

❗ 注意: 既に作成されたページフィルターの日付形式は変更されていません。

クローズされた問題

このリリースのibi™ WebFOCUS®で修正された問題は、次のとおりです。

キー	概要
CD-6381	ibi™ WebFOCUS® Designerで、保存と復元を実行すると、ドリルダウン変数の値が変更されます。(2466957 2466957)
IBIAS-8775	9.3.1 HF-002を適用すると、HTMLドロップダウンコントロールのロードに時間がかかります。(02298065)
IBIDF-2072	ポルトガル語-ブラジル語環境では、ビジュアライゼーションの日付フィルタに認識されない文字が表示されます。(02031199)
IBIDF-4210	言語がポルトガル語-ブラジル語に設定されている場合、ibi™ WebFOCUS® Designerにて、日付カレンダーフィルタには日付の誤った値が表示されます。(2463141)
RC-3777	ibi™ WebFOCUS® ReportCasterで、リリース9.3.0にアップグレードした後、[新規タスク]画面を作成すると、エラーメッセージが生成されます。(02287983 02258034)
SRVADPT-	ibi™ WebFOCUS® Designerで、ENGINE INT SET OPT OFFコマンドがブレ

キー	概要
3399	ビューモードで渡されると、次のエラーが生成されます。(2477358) (FOC2560) RIGHT OR FULL OUTER JOIN REQUIRES JOIN TO BE PASSED TO RDBMS
SRVADPT-3485	Microsoft ExcelファイルをバルクロードでSybaseアダプタ経由でアップロードすると、テーブル名が数字またはマルチバイト文字で始まる場合、FOC1409およびFOC1357エラーが生成されます。
SRVDA-2600	ibi™ WebFOCUS® Reporting Serverで、最初のキャンセル後にアダプタを構成する後続の試行を行うと、設定の詳細を入力できない空白の構成ページが表示されます。
SRVDA-2700	デザイナーモードで、[データ]タブにフィルタが設定されている場合、[ビジュアルイゼーション]タブにすべてのデータが表示されません。(02235009)
SRVDA-2710	ibi™ WebFOCUS® Designerで、クラスタベースのシノニムがHOLDとして使用されると、FOC205エラーが生成されます。
VIZ-1098	棒グラフの端にカーソルを合わせると、ツールチップのドリルダウンメニューが表示されません。(2320940)

バージョン 9.3.3

ここでは、ibi™ WebFOCUS® の上記のバージョンについて、必要な情報を提供します。

このマニュアルのオンラインバージョンおよびこのバージョンについての詳細は、[IBI WebFOCUS 製品ドキュメント サイト](#) にアクセスし、[Documentation] タブから製品グループへのリンクを選択してください。

リリースおよび Gen 情報

次の表に、このリリースの ibi™ WebFOCUS® の gen 情報を示します。

リリース日	Gen 情報	WebFOCUS Reporting Server
2025 年 1 月	wf012325c wi012325c as011625a	933 Gen 2972

新機能

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® では、次の機能が追加されています。

- **Presto アダプタの ETL-TRG-TBL_STORED_AS 設定の拡張**

Presto 用アダプタの ETL-TRG-TBL_STORED_AS 設定に、Parquet および ORC フォーマットが新たに追加されました。これらのオプションを選択するには、アダプタページで Presto アダプタを右クリックし、[設定の変更] を選択します。詳細については、ibi™ WebFOCUS® *Adapter Administration* ガイドの *Using the Adapter for Presto* の章を参照してください。

- **DB_LOOKUP の静的キャッシュ**

SQL データに対する DB_LOOKUP のパフォーマンスを向上させるには、DB_LOOKUP で静

的結合処理を有効にします。これにより、ibi™ Data Migrator および ibi™ WebFOCUS® のデータフローとプロシジャの実行時間が短縮されます。詳細については、*ibi™ Data Migrator Functions Reference*ガイドを参照してください。

- **Designer: データラベルのカスタマイズの UI オプション**

Designer で、UI のオプションを使用してデータラベルをカスタマイズできるようになりました。データラベルをカスタマイズするための新しいオプションは、[フォーマット] タブで使用できます。これらのオプションを確認するには、[フォーマット]、[シリーズ]、[ラベルのフォーマット] を順に選択します。

- **Windows の DSML サービス**

このバージョンでは、Windows 11 および Windows Services 2019 以降で、DSML サービスが利用できます。

- **DSML サービスによる自然言語クエリのサポート**

このバージョンでは、DSML サービスで、アドバンスド Ph3 モデルによる自然言語クエリ(NLQ)がサポートされています。

プラットフォームサポートの変更点

今回のリリースでは、ibi™ WebFOCUS® Reporting Serverのプラットフォームサポートは次のように変更されています。

プラットフォーム	状態	リリース時点	注記
Linux Kernel 4.18、glibc 2.28 64-bit on zSeries	追加	9.3.3	これはサポートされている最小バージョンです。
Linux Kernel 3.0.101 glibc 2.11 64-bit on zSeries	削除	9.3.3	このバージョンはサポートされなくなりました。

サポートされているプラットフォームの完全なリストは、Readmeファイルを参照してください。

修正済み問題

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® で修正済みの問題は次のとおりです。

キー	概要
BIP-5281	ibi™ WebFOCUS® Hub で言語を日本語に変更後、ポータルの[パスワードの変更]画面で[キャンセル]ボタンをクリックすると、不完全な文字列が表示されます。(02288663)
CD-6357	ibi™ WebFOCUS® Designer でレポートまたはグラフを保存する際に、概要セクションに入力した値が保存されません。(2463684、2463684)
CD-6350	ibi™ WebFOCUS® Designer で一部構成ファイル名で作成されたコンテンツを ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で編集すると、エラーが生成されます。(02273895)
CD-6347	ibi™ WebFOCUS® Designer で、クリップボードから見出しにテキストをコピーしようとしても、見出しテキストの後に空白が含まれている場合、コピーできません。(2298543)
CD-6299	ibi™ WebFOCUS® Hub で wf_retail_geography マスターファイルを使用してビジュアライゼーションを作成する場合、[緯度]と[経度]のフィールドを Galigeo Geographic Point Extension バージョン 1.2.1 の相対表示フィールドにドラッグできません。(02292038)
CD-6278	ibi™ WebFOCUS® Designer で、フィルタラベルが長すぎる場合、フィルタラベルの表示が不完全になります。(02254785)
CD-6277	ibi™ WebFOCUS® Designer でグラフタイプを変更しても、ラベルの位置が更新されません。(02236232)
CD-6273	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で[サンプルデータ]機能を使用してレポートを保存後、ibi™ WebFOCUS® Designer で開いて実行した場合、フィールド値が表示されません。(02305650)
CLRPT-4593	ibi™ WebFOCUS® で Oracle データベースを使用してディスカバリツールを実

キー	概要
	行すると、ORA-01849 エラーが生成されます。(2471120)
CLRPT-4571	バージョン 9.2.1 から 9.3.0 にアップグレード後、複数のポータルを実行してコンテンツをテストすると、「com.ibi.ibfs.error.IBFSEException: 項目を更新できません」というエラーが生成されます。(2306137)
IDA-1591	AHTML レポートで [集約] または [ピボット] 操作を実行後、メインメニューから [作成] ボタンをクリックして [変更の保存] オプションを選択すると、ブランクのレポートが作成されます。(02308297)
IBIDF-4280	ibi™ WebFOCUS® Designer ポータルページでデフォルト値が [すべて] に設定されている場合、内部デフォルト値が _FOC_NULL の代わりに null に設定され、「FOC260 AN OPERATION IS MISSING AN ARGUMENT」というエラーが生成されます。(2470021)
IBIDF-4258	Designer ページで、フィルタコントロールの [選択コントロール] オプションを有効にすると、エラーが発生します。(2470021)
IBIDF-4209	ラジオコントロールにインタラクションを伴う条件を適用すると、期待どおりに動作しません。(02307059)
IBIDF-4196	ibi™ WebFOCUS® Designer ページを作成してトグルコントロールと条件を適用すると、期待どおりに動作しません。(02306992)
IBIDF-2253	レガシーホームページからプロシジャを実行すると、左側ウィンドウのオートプロンプトに、追加の windowHandle パラメータが表示されます。(02214657、02211668、02267224)
IBIUX-2784	ibi™ WebFOCUS® ホームページで [検索] アイコンを選択すると、JavaScript エラーが発生します。(02296520)
RC-4002	[ibi™ WebFOCUS® ReportCaster の構成] でスケジュール禁止期間のスケジュールを削除する際に表示される、[削除] ダイアログボックスのタイトルが正しくありません。(2469893)

キー	概要
RC-3940、 RC-3910	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster で、ibi™ WebFOCUS® ReportCaster を再起動するまで動的配信ジョブが停止されません。(02302105)
RC-3938	コードページが[942 (Shift-JIS)]に設定されている場合に、ibi™ WebFOCUS® ReportCaster ジョブログファイルを ibi™ WebFOCUS® ReportCaster コンソールから表示すると、NULL 値が表示されます。(2326204)
RC-3930	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster でスケジュールを作成、または既存のスケジュールを編集する際に、ibi™ WebFOCUS® グループが渡されません。代わりにサーバグループが使用されます。(2325439、2323410)
RC-3906	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster で Email スケジュールを作成する場合、[すべての値] オプションが日本語ではなく英語で表示されます。(02297989)
SRVADPT- 3329	Teradata テーブルと Google BigQuery テーブルを結合すると、エラーメッセージが生成されます。(2327608)
SRVADPT- 3254	一時項目を含む表形式モデルのマスターファイルを作成すると、一時項目がマスターファイルに表示されません。(02289210)
SRVADPT- 816	Google BigQuery でチュートリアルの[Retail デモ]を作成すると、エラーメッセージが生成されます。(02029133)
SRVDA-2664	[データの取得] のシンプルモードでテーブル名が大文字のシノニムを作成すると、生成されたシノニムのアクセスファイルで、大文字が小文字に変換されます。(02304249)
SRVDM-1039	ibi™ Data Migrator バージョン 9.1.x から 9.2.x にアップグレード後、サイレントモードによるインストールが失敗します。(2325819)
SRVFOC- 1721	HDATE(datetime, 'YYMtrDm') 関数により、ブランクの値が返されます。(02307560)

キー	概要
SRVFOC-1720	バージョン 9.3.1 にアップグレード後、HIPERFOCUS による FOCUS データベースの作成がサポートされなくなります。(2378496)
SRVFOC-1700	ON TABLE HOLD VIA プログラムにより返される結果が不正確になります。(02295156)

バージョン 9.3.2

ここでは、ibi™ WebFOCUS® の上記のバージョンについて、必要な情報を提供します。

このマニュアルのオンラインバージョンおよびこのバージョンについての詳細は、[IBI WebFOCUS 製品ドキュメントサイト](#)にアクセスし、[Documentation] タブから製品グループへのリンクを選択してください。

リリースおよび Gen 情報

次の表に、ibi™ WebFOCUS® の今回のリリースに関する gen 情報を示します。

リリース日	Gen 情報	WebFOCUS Reporting Server
2024 年 11 月	wf110624a wi110624a as102924a	932 Gen 2967

新機能

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® では、次の機能が追加されています。

- **Google Cloud Storage アダプタ**

Google Cloud Storage アダプタを使用して、Google Cloud Storage に接続します。Google スプレッドシート、PDF、JSON、XML などの出力フォーマットの ibi™ WebFOCUS® レポートを、Google Cloud 環境内のバケットに保存することができます。このアダプタは、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server ブラウザインターフェースを使用して構成することができます。詳細については、*ibi™ WebFOCUS® Adapter Administration* ガイドの「Google Cloud Storage のアダプターの使用」の章を参照してください。

- **メモリからのレコードの挿入**

このバージョンでは、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server ブラウザインターフェースに [レコードをメモリから挿入] オプションが追加されています。このオプションは、[ロードオプション] 画面の [ロードタイプ] ドロップダウンリストから利用することができ、データフローターゲットにデータ行をブロック単位でロードできます。これにより、データロードプロセスの速度が向上します。詳細については、*ibi™ WebFOCUS® Reporting Server Administration* ガイドの「ターゲットのロードオプションの編集」トピックを参照してください。

- **最近使った項目とお気に入りの復元**

新しいバージョンに更新後、管理者は ibi™ WebFOCUS® インストールの `utilities\dbupdate` に格納されている `db_convertfr.bat` (Windows) または `db_convertfr.sh` (UNIX) を実行することで、最近使った項目とお気に入りの復元することができます。これにより、マイグレート後の ibi™ WebFOCUS® の起動時間が短縮されます。

- **レーダーグラフ**

このバージョンでは、ibi™ WebFOCUS® Designer で折れ線および面のレーダーグラフの作成が可能になっています。

- **Designer オートプロンプトの検証**

このバージョンでは、Designer オートプロンプトの実行時に、フィールド検証ポップアップが表示されるようになりました。

- **ページあたりのブックマーク数**

このバージョン以降、ibi™ WebFOCUS® ブックマークとして追加可能なページ数の制限が解除されています。

- **IBM Db2 バージョンのアップグレード**

このバージョンでは、IBM Db2 バージョン 13 が、Db2/Db2 Warehouse アダプタの CLI バージョンと CAF バージョンの両方でサポートされています。詳細については、*ibi™ WebFOCUS® Adapter Administration* ガイドの「Db2/Db2 Warehouse のアダプターの使用」の章を参照してください。

- **配信リストのインポートでの CSV ファイルのサポート**

このバージョン以降へのアップグレード後、ibi™ WebFOCUS® ReportCaster 配信リストを CSV フォーマットのファイルからインポートできます。

- **データサイエンスチュートリアル**

このバージョンでは、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server ブラウザインターフェースで [データサイエンス] チュートリアルオプションが使用できます。このオプションは、[アプリケーションディレクトリ] の [チュートリアルフレームワークの作成] で、[チュートリアル] ドロップダウンリストから選択

できます。

- **Amazon Athena アダプタ JDBC ドライババージョンの更新**

このバージョンでは、Amazon Athena アダプタで、AWS JDBC 3.3.2 ドライババージョンもサポートされています。

- **多クラス分類**

このバージョンでは、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server で「多クラス分類」が使用可能になっています。この分類を [データフローの作成] オプションから使用することにより、データの予測分析を学習させることができます。

機能の変更

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® では、次の機能が変更されています。

- このバージョンでは、リクエストの一部として同一変数の複数の値を渡す場合、値は個別のパラメータとして渡されるようになりました。たとえば、&VARIABLE=1&VARIABLE=2 という値が URL に追加される場合、&VARIABLE の値は、「1」または「2」として解決されます。
- ibi™ WebFOCUS® Reporting Server で、TLS は、すべての TCP/IP ポートで有効になります。

移行と互換性

次の情報は、ibi™ WebFOCUS® の今回のリリースの移行手順と互換性マトリックスを示しています。

詳細については、次のセクションを参照してください。

- [最近使用したファイルとお気に入りの復元](#)
- [アップグレードと互換性マトリックス](#)

最近使用したファイルとお気に入りの復元

WebFOCUS Release 9.2.x 以前から Release 9.3.2 にアップグレードした後、Windows で db_convertfr.bat ユーティリティ、UNIX で db_convertfr.sh ユーティリティを実行して、[お気に入り] と [最近使用したファイル] のコンテンツを復元する必要があります。詳細については、ibi™ WebFOCUS® インストールガイド for Windows ガイドの「アップグレード後の [お気に入り] と [最近使

用したファイル] の復元"、および ibi™ WebFOCUS® インストールガイド for Linux/UNIX ガイドの"アップグレード後の[お気に入り]と[最近使用したファイル]の復元"を参照してください。

アップグレードと互換性マトリックス

Release 8206 以前からアップグレードする場合：

1. Release 8206 以前から Release 8207.28 にアップグレードします。
2. Release 8207.28 から Release 9.3.2 にアップグレードします。

Release 8207.27 以前からアップグレードする場合：

1. Release 8207.27 以前から Release 9.2.x にアップグレードします。
2. Release 9.2.x から Release 9.3.2 にアップグレードします。

Release 8207.28 からアップグレードする場合：

- Release 8207.28 から Release 9.3.2 にアップグレードします。

修正済み問題

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® で修正済みの問題は次のとおりです。

キー	概要
CD-6234	ビジュアライゼーションのフィルタツールバーで、最初のフィルタがオプションとして選択され、2 つ目のフィルタが必須として選択された場合、オートプロンプトが表示されません。(02255814)
CD-6211	ibi™ WebFOCUS® Designer で作成された JOIN の子テーブルからの値が、実行時にオートプロンプトのドロップダウンリストに表示されません。(02286203)
CD-6150	ibi™ WebFOCUS® Designer でレポートを作成してフォーマットを設定する際に、列幅の設定を更新して保存し、再度編集した場合、この設定が[コンテンツに合わせる]に戻ります。(02286412、02285679)

キー	概要
CD-6117	レポートを作成する際に、同一のフィールドを異なる集計として2回追加し、スタイル設定ダイアログボックスでスタイルを適用してプロシジャを2回目に保存すると、いずれかのフィールドの条件付きスタイル設定が削除されます。(02284174)
CD-6050	ビジュアライゼーションの[データ]タブで HOLD ファイルを作成後、ibi™ WebFOCUS® Designer で再度編集すると、FOC205 エラーが生成されます。(02266112)
CD-5687	ビジュアライゼーションを作成する際に、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server で作成され、ibi™ WebFOCUS® Designer でフォーマットが再設定された一時項目 (DEFINE/COMPUTE) が、ツールに表示されません。(02215228)
CLRPT-4529	最近使用したオブジェクトリストに新しいオブジェクトが追加されると、オブジェクトの合計件数が減少します。(02301060)
CLRPT-4523、 CLRPT-4515	ibi™ WebFOCUS® Hub で、イメージファイル以外のファイルもサムネールとしてアップロードできます。(02294975)
CLRPT-4511	ibi™ WebFOCUS® Designerで、オートリンクが機能しません。代わりに、次のエラーメッセージが表示されます。 <code>The Value of this Variable is Invalid! 'IBFS_ParentDrills'</code>
CLRPT-4506	クライアント言語が英語以外の言語に設定されている場合、ibi™ WebFOCUS® Designer でフィルタパネルに日付フィールドが追加されたビジュアライゼーションを実行すると、プロンプトの日付コントロールに[OK] ボタンが表示されません。(02293953)
CLRPT-4497	ibi™ WebFOCUS® App Studio のページで、特定のイメージまたは CSS コードが、初回実行時に取り込まれません。この問題が発生する原因として、cgipath.js がロードされない場合があります。JavaScript ファイルの中には IBI_CACHE_FLUSH_KEY を使用するものと使用しないものが存在することが考えられます。(02293174)

キー	概要
CLRPT-4470	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.3.0 にアップグレード後、App Studio の HTML 連鎖機能が動作しなくなります。(02285700)
CLRPT-4467	レポートオブジェクトが追加された ibi™ WebFOCUS® Designer ページで <code>=&DATEMtrDYY</code> 変数が使用されている場合、ページが2回実行されます。(02288154)
CLRPT-4462	ibi™ WebFOCUS® をバージョン 9.3 にアップグレード後、Tomcat による CPU 使用率が一定期間にわたって急上昇します。(02288562、02290384)
CLRPT-4456	Red Hat システムで FIPS (Federal Information Processing Standard) が有効になっている場合、ibi™ WebFOCUS® Client のインストール時に「ページが見つからない」というエラーが発生します。(02287986)
CLRPT-4438	管理コンソールの[パラメータのプロンプト]の値が[デザイナー]に設定されている場合、フィルタにパラメータを含むレポートまたはグラフを実行すると、デフォルトパラメータプロンプトページに、レポートのパラメータとともに[BIP_folder]が表示されます。(02284202)
CLRPT-4429	ibi™ WebFOCUS® をバージョン 9.3.0 にアップグレード後、最近使った項目が WF_USERRECENTS テーブルに追加されなくなります。(02276830、023010600)
CLRPT-4426	レポートオブジェクトから ibi™ WebFOCUS® Designer レポートを作成する場合、静的パラメータに基づくフィルタドロップダウンリストがブランクになります。(02204878)
CLRPT-4422	2つの JVM が動作している場合、Rest API コールによるスケジュールの作成時、およびユーザの ibi™ WebFOCUS® へのログイン時にエラーが発生します。(02256742)
CLRPT-4413	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.2.3 へのアップグレード後、ドリルダウンレポートで選択されていないパラメータが、選択されたパラメータとともに[オートプロ

キー	概要
	ンプト] ウィンドウに表 示 され ます。(02243771)
CLRPT-4412	AHTML フォーマット のプロシジャでページを遷 移 する 際 に、&IBIMR_folder 値 が取 得 され ませ ン。(02243551)
CLRPT-4377	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.3.0 にアップグレード 後、フォームポストメソッ ドを 使 用 してレポ ー トにパラメータを渡す 際 に、誤 っ たパラメータ値 が渡 され ます。(02269813、02285700)
CLRPT-4310	レポ ー トオブジェクトを 含 む ページで =&DATEMtrDYY 変 数 が使 用 され てい る 場 合、ペー ジが 2 回 実 行 され ます。(02288154)
IA-12359	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist レポ ー ト の見 出 しと脚 注 のダイアログボク ス で、コピ ー と貼 り 付 けの機 能 が期 待 どお りに動 作 しませ ン。(02284756)
IA-12350	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、オプシ ョ ンパラメータを 使 用 する DEFINE ファイルからレポ ー トを 作 成 すると、DEFINE FILE 構 文 が-DEFAULT 値 設 定 の前 に生 成 され る た め、実 行 時 に問 題 が発 生 し ます。(02259944)
IA-12330	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で繁 体 字 中 国 語を 使 用 すると、フィルタに 表 示 され る 翻 訳 が正 し くあ りませ ン。(02234755)
IBIAS-8771	ibi™ WebFOCUS® App Studio でユーザが SAML 認 証 を 使 用 する 場 合、ロ グイン資 格 情 報 を提 供 し て も、ア クセ ス が拒 否 され ます。(02276852)
IBIDF-4116	Designer ペー ジのフィルタに 変 数 を 設 定 し、この変 数 名 にアンダースコア (_) 文 字 が 含 ま れ てい る 場 合、デザイン時 にフィルタに値 が入 力 され ませ ン。(02275300)
IBIDF-4096	バー ジ ョ ン 9.2.1 にアップグレード 後、コンテナに URL を追 加 してコンテナをリ フレッシュすると、URL がブラウザの 新 し いタブで開 きます。(02244138)
IBIDF-4095	ダブルリストフィルタコントロールを 使 用 する 場 合、JavaScript の FOC NULL パラメータが渡 され ませ ン。(02272746)

キー	概要
IBIDP-242、 IBIDP-238	アプリケーションの実行中にブラウザのサイズを変更すると、ハンバーガーメニューアイコンにアクセスできなくなり、「Uncaught Exception」が生成されます。(02274066)
IBIDP-241	ibi™ WebFOCUS® Designer ポータルをリストビューに変更すると、編集できなくなります。(02292963)
IBIDP-239	アプリケーションポータルのランディングページで、すべてのレポートが完全にロードされず、別のページに移動すると、新しいページも完全にロードされません。(02284390)
RC-3921	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.3.1 で、既存の ReportCaster スケジュールを変更して保存すると、エラーが発生します。これは、Oracle リポジトリを使用している場合にのみ発生します。
RC-3857	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster で [プロシジャの参照] ボタンをクリックし、スケジュールで使用可能なプロシジャを参照すると、[開く] ダイアログボックスに表示されるすべての項目の最終更新日として、1970 年 1 月 1 日午前 9:00 という誤った値が表示されます。(02296877)
RC-3807	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster でパターンタイプとして [その他] を選択して配信リストを編集する際に、バースト値を設定できます。(02291136)
RC-3800	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.07 から 9.0 にアップグレードする際、内部クリーンアッププロセスを実行しても、ibi™ WebFOCUS® ReportCaster ログテーブルが正しくクリーンアップされません。(02286136)
RC-3793	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster で言語が日本語に設定されている場合、[ReportCaster ステータス] タブのリボンメニュー名の表示が切り取られます。(02291104)
RC-3792	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster でコードページと言語を日本語に設定しても、[メニューの表示] ツールヒントが日本語ではなく英語で表示されます。(02291105)

キー	概要
RC-3791	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster で [その他の ReportLibrary 設定] 下の [期限切れなし] ラジオボタンをオフにすると、見出しの位置がずれ、タイトル表示が不完全になります。(02291143)
RC-3743	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster で PDF レポートを印刷すると、プリンタが再起動します。(02283410)
SEC-2254	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.3.1 にアップグレード後、HTTP x.509 認証が機能しなくなります。(02293622)
SEC-2248	opFavorites 権限を所有しないユーザがポータルにアクセスしようとすると、システムは「Access to item denied」というエラーメッセージが格納された XML ファイルをダウンロードすることで応答します。(02279337、02299590)
SEC-2245	ibi™ WebFOCUS® にログインするユーザ名の末尾にブランクが含まれている場合、次のエラーメッセージが表示されます。(02274100)
	The input user does not match the user in the session
SRVADPT-3263	PowerBI を使用して、リンカテーブルを含むシノニムからレポートを作成すると、ブランクのレポートが返されます。(02302163)
SRVADPT-2986	Microsoft SQL Server Analysis Services Tabular Data Model (TMDAX) 環境で、双方向 JOIN に関与する 2 つ以上のフィールドからレポートを生成し、これらのフィールド間に複数の双方向 JOIN が存在する場合、エラーが発生します。(02238164)
SRVDA-2658	クライアント設定 (site.wfs) にサンプルコードを追加すると、ビジュアライゼーションで JOIN が機能しなくなり、プロシジャを編集する際に「FDMinternalException」エラーが発生します。(02299738)
SRVDM-1027	データフローで、Hyperstage ターゲットにデータをロードする際に、ターゲットシノニムで DBA 保護が有効になっている場合、データがロードされません。(02235412)

キー	概要
SRVRM-290	Resource Analyzer で SQL Server リポジトリにデータが挿入されず、 rmldat_xxxxxxx.log ファイルにリターンコード 18901 とともに複数の FOC エラーが生成されます。(02288428)
SRVWKSPC-3906、 SRVWKSPC-3895	site_profile で site.wfs の変数が使用され、site.wfs 内に IBIC_server が記述されている場合、オートドリル機能が有効になりません。(02300308)
SRVWKSPC-3892	IBM z/OS v3.1 上に ibi™ FOCUS® バージョン 9.3.1 をインストールすると、OpenMVS 接続が予期せず切断されます。(02300520)
SRVWKSPC-3818	ibi™ WebFOCUS® - Container Edition の ibi™ WebFOCUS® Reporting Server で、1 つのサーバブロックから選択したデータを、別のサーバブロックに送信することができません。(02285462)
SRVWKSPC-3817	クラスタ管理コンソールが利用可能な状態であっても、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server のログイン ID が SRV で、このユーザがクラスタ管理で定義されていない場合、このコンソールにアクセスすることができません。(02285461)

バージョン 9.3.1

ここでは、ibi™ WebFOCUS® の上記のバージョンについて、必要な情報を提供します。

このマニュアルのオンラインバージョンおよびこのバージョンについての詳細は、[IBI WebFOCUS 製品ドキュメントサイト](#)にアクセスし、[Documentation] タブから製品グループへのリンクを選択してください。

リリースおよび Gen 情報

次の表に、ibi™ WebFOCUS® の今回のリリースの Gen 情報を示します。

リリース日	Gen 情報	WebFOCUS Reporting Server
2024 年 7 月	wf071124a wi071124a as071124a	931 Gen 2961

新機能

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® では、次の機能が追加されています。

- シノニムエディタによるシノニムの作成

ibi™ WebFOCUS® Reporting Server ブラウザインターフェースから、シノニムエディタで新しいシノニムを作成できるようになりました。詳細については、*ibi™ WebFOCUS® Reporting Server Administration* ガイドの「シノニムエディタによるシノニムの作成」のトピックを参照してください。

- テンプレートを使用した複合レポートの生成

SECTION レベルでテンプレートを指定することで、XLSX および PPT テンプレートに基づく

XLSX、PowerPoint 複合レポートを作成できるようになりました。詳細については、*ibi™ WebFOCUS® Creating Reports with ibi™ WebFOCUS® Language* ガイドの「テンプレートを使用した複合レポートの生成」のトピックを参照してください。

- **エクスプローラコンテナでの検索機能**

ibi™ WebFOCUS® Designer ページの [エクスプローラ] コンテナに、検索機能が追加されました。この機能を使用するには、ibi™ WebFOCUS® と同一の環境で Solr を構成しておく必要があります。

機能の変更

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® では、次の機能が変更されています。

- このバージョンでは、IDMS/SQL アダプタを IDMS ライブラリと再リンクするには、LINKEDIT JCL を使用して DBTFOC ロードモジュールを IDMS ライブラリと再リンクする必要があります。詳細については、*ibi™ WebFOCUS® Adapter Administration* ガイドの「CA-IDMS/SQL 用アダプタの使用」の章を参照してください。
- このバージョンでは、Teradata アダプタを Teradata ライブラリと再リンクするには、LINKEDIT JCL を使用して DBTFOC ロードモジュールを Teradata ライブラリと再リンクする必要があります。詳細については、*ibi™ WebFOCUS® Adapter Administration* ガイドの「Teradata 用アダプタの使用」の章を参照してください。

修正済み問題

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® で修正済み問題は次のとおりです。

キー	概要
CD-6001	ibi™ WebFOCUS® Designer の条件付きスタイルで 2 つ以上の条件を作成すると、エラーメッセージが生成されます。 (02101420、02222355、02246448)
CD-5906	ibi™ WebFOCUS® Designer のレポートで

キー	概要
	フィールドが2回使用されている場合、このフィールドに基づいて条件付きスタイルを作成することができません。(02240293)
CD-5886	ibi™ WebFOCUS® Designer のブラウザタブでグラフ、レポート、またはビジュアライゼーションを開くと、タイトルテキストが表示されません。(02230079)
CD-5367	実行時に変数に値が割り当てられていない場合、変数を使用する DEFINE フィールドコマンドが失敗します。(02222856、02244168)
CLRPT-4381	ibi™ WebFOCUS® で、元のプロシジャファイルを削除した後にレポートのショートカットを削除すると、「Internal Exception Processing IBFSService.delete」というエラーメッセージが表示されます。(02272711)
IBIAS-8740	ibi™ WebFOCUS® App Studioでタスクの名前を変更する際に、タスク名をブランクのままにすると、そのタスクが以降の操作で使用できなくなります。(02228173)
IBIUX-2314	ibi™ WebFOCUS® Client の Git ソース管理で、長いファイル名の完全なパスとファイル名が表示されません。また、ステージング用にリストされたファイルがコミットされません。(02217641)
IDA-1534	AHTML 出力で、リストツールから SUBTOTAL 関数を使用しようとしても、レポートの出力が変更されません。

キー	概要
RC-3701	ReportCaster で [プロシジャで指定されたフォーマットを上書きする] を [COMT] に設定した場合、ReportLibrary のコンテンツタイプとして [CSV] の代わりに [EXCEL] が表示されます。(02276801)
RC-3527	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster バージョン9.2.2 で、開始時刻を特定の時刻とタイムゾーンに設定したスケジュールを作成した場合、ibi™ WebFOCUS® ReportCaster はタイムゾーンを無視し、スケジュールをローカル ibi™ WebFOCUS® ReportCaster タイムゾーンとして保存します。(02242365)
SEC-2239	日本語環境で、セキュリティセンターの [新規ユーザ] ウィンドウで [ステータス] フィールドを編集、選択することができません。この機能は、言語が英語に設定されている場合に動作します。(02269205)
SRVDA-2519	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.2.1 にアップグレード後、検索フィルタを使用して、Shift キーを押しながらクリックしてアプリケーションディレクトリ内のファイルを選択すると、一部のファイルが削除されます。(02239323)
SRVRM-276	Resource Analyzer で、アーカイブされていないログの一括ロード操作が失敗します。(02225170)

バージョン 9.3.0

ここでは、ibi™ WebFOCUS® の上記のバージョンについて、必要な情報を提供します。

このマニュアルのオンラインバージョンおよびこのバージョンについての詳細は、[IBI WebFOCUS 製品ドキュメントサイト](#)にアクセスし、[Documentation] タブから製品グループへのリンクを選択してください。

リリースおよびGen情報

下表は、このリリースの ibi™ WebFOCUS® のGen情報を示しています。

リリース日	Gen情報	WebFOCUS Reporting Server
2024 年 4 月	wf040624a	930 Gen 2957
	wi040624a	
	as040224b	

新機能

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® では、次の機能が追加されています。

- NOCRS 権限

サーバ管理者は、[アクセスコントロール] メニューの [一般ユーザ] ロールで [全般権限] の [NOCR] のチェックをオンにすることで、一般ユーザのシノニム作成権限を無効にすることができます。

- NORDU 権限

サーバ管理者は、[アクセスコントロール] メニューの [一般ユーザ] ロールで [全般権限] の [NORDU] のチェックをオンにすることで、一般ユーザのローデータのアップロード権限を無効に

することができます。デフォルト設定では、このチェックはオフになっています。

- **NOSSE 権限**

サーバ管理者は、[アクセスコントロール] メニューの [一般ユーザ] ロールで [全般権限] の [NOSSE] のチェックをオンにすることで、一般ユーザの SQL ステートメント編集権限を無効にすることができます。デフォルト設定では、このチェックはオフになっています。

- **アダプタの MERGE サポート**

バージョン 9.3.0 以降、次のアダプタで MERGE サポートが提供されます。

- Informix アダプタ
- PostgreSQL バージョン 15 用 PostgreSQL アダプタ
- Snowflake Cloud Data Warehouse アダプタ
- Sybase アダプタ

- **アダプタの MERGE 統計サポート**

リリース 9.3.0 以降、次のアダプタで、更新、挿入、削除された行数についての MERGE 統計が提供されます。

- Oracle アダプタ
- Google BigQuery アダプタ

さらに、Google BigQuery アダプタでは、大規模なレコードセットをロードする際の使用メモリが低減されています。

- **アダプタの UPSERT サポート**

リリース 9.3.0 以降、次のアダプタで UPSERT サポートが提供されます。

- Amazon Redshift アダプタ
- Greenplum アダプタ
- Hyperstage PG アダプタ
- MariaDB アダプタ
- Microsoft Azure Synapse Analytics アダプタ
- MySQL アダプタ
- Netezza アダプタ
- PostgreSQL バージョン 14 用 PostgreSQL アダプタ

- SAP HANA アダプタ
- Snowflake Cloud Data Warehouse アダプタ
- **UTF 以外の文字と NULL 文字の処理の改善**
JDBC アダプタでは、UTF 以外の文字、および NULL 文字の処理が改善されています。
- **マルチセグメントマスターファイルでの重複名処理の改善**
JDBC アダプタおよび ODBC アダプタで、マルチセグメントマスターファイルでの重複名の処理が改善されています。
- **Google BigQuery アダプタの gzip エンコード**
Google BigQuery アダプタで、[HTTPACCEPTENCODING] 設定を使用して、HTTP 圧縮に gzip エンコードを使用することができます。
- **JDBC アダプタの JLINK サポート**
JLINK の JDBC アダプタで、DatabaseMetaData.getCrossReference() への直接呼び出しが有効になっています。
- **ODBC のワイド Unicode API サポート**
バージョン 9.3.0 以降、ODBC のワイド Unicode API サポートが提供されます。
- **GetData 設定の使用**
GetData 設定を使用して、[データの取得] ページからデータをアップロードするときに、テーブル名を編集できるようになりました。この機能を使用するには、[データの取得] 設定で [GETDATA_EDIT_TABLENAME] の値を [はい] に設定します。
- **Reporting Server プロファイル設定でのパス変数の使用**
[変数を Reporting Server プロファイルに送信] 設定を使用することで、プロファイル変数のリストを ibi™ WebFOCUS® Reporting Server プロファイルに渡すことができるようになりました。
- **edatemp_disk_limit 設定の使用**
[edatemp_disk_limit] 設定を使用することで、edatemp ディレクトリ下で使用可能なディスク容量の最大値を、キロバイト単位で定義できるようになりました。
- **マルチレイヤマップの SVG アイコン**
マルチレイヤマップで、SVG アイコンのさまざまなスタイルを設定できるようになりました。
- **Hyperstage PG アダプタの改善**
バージョン 9.3.0 以降、Hyperstage PG アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. MDN.
 2. MDE.
 3. RNK
 4. PARTITION_AGGR()
 5. PARTITION_REF()
 6. BY HIGHEST n
 7. DATEADD(DAY)
- SQL 関数
 1. MEDIAN()
 2. MODE()
- **Apache Drill アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Apache Drill アダプタでは次の関数がサポートされています。

 - テーブル関数
 1. PARTITION_AGGR(B/E、B/C、または C/E)
 2. PARTITION_REF(1 または -1)
 3. RNK
 4. BY HIGHEST n
 5. REPLACE()
 6. HPART(DAY_OF_YEAR, WEEKDAY)
 7. DTPART(DAY_OF_YEAR, WEEKDAY)
 8. PHONETIC()
 9. TOKEN()
 10. GET_TOKEN()
 11. MDE. 集約接頭語の最適化
 - SQL 関数
 1. PHONETIC()

2. TOKEN()
3. REVERSE()
4. REPEAT()
5. CHR()
6. ASCII()

- **HP Vertica アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、HP Vertica アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. DATEDIFF(DAY)
 2. COMPUTE の MISSING
 3. MDN. as APPROXIMATE_MEDIAN

- **Microsoft SQL Server アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Microsoft SQL Server アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. DTRUNC
 2. MIN|MAX スカラ関数
 3. 任意文字の TRIM
 4. APPROX_PERCENTILE_CONT を使用した MDN 集計接頭語
 5. INT
 6. vector IN
 7. マルチペア DB_INFILE
 8. COMPUTE の MISSING
- SQL 関数
 1. LAST_VALUE|FIRST_VALUE with IGNORE NULLS
 2. DTRUNC
 3. 任意文字の TRIM

4. EXCEPT ALL

- データプロファイリング関数

1. 中央値、Q1、Q3、四分位範囲

- **Google BigQuery アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Google BigQuery アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. PHONETIC(SET PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)
2. 任意文字の TRIM
3. TOKEN(negative)
4. DATEDIFF(DAY)
5. MDE. 集約接頭語の最適化
6. マルチペア DB_INFILE
7. COMPUTE の MISSING

- SQL 関数

1. REGEXP_INSTR
2. PHONETIC(SET PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)
3. INITCAP
4. MODE (approximate)
5. CHR
6. ASCII
7. HEX(alpha のみ)

- **TIBCO Data Virtualization アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、TIBCO Data Virtualization アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. REGEX
2. PATTERNS

3. PHONETIC(PHONETIC_ALGORITHM=METAPHONE)
 4. INT
 5. TO_INTEGER
 6. TO_NUMBER
 7. DT_FORMAT (一部のフォーマット)
 8. DTRUNC
 9. DTPART(MICROSECOND)
 10. HPART(MICROSECOND)
 11. マルチカラムの IN
 12. クロス DBMS DB_INFILE
- SQL 関数
 1. SQL_PHON_DBL_MP
 2. SQL_SEARCH_REXP_REPLACE
 3. SQL_SEARCH_REXP_INSTR
 4. SQL_MATH_TRUNC
- Informix アダプタの改善
- バージョン 9.3.0 以降、Informix アダプタでは次の関数がサポートされています。
- テーブル関数
 1. 複数固有値の集計
 2. DTPART(DAY_OF_YEAR|QUARTER)
 3. HPART(DAY_OF_YEAR|QUARTER)
 4. DT_FORMAT(一部のフォーマット)
 5. Vector IN
 6. マルチペア DB_INFILE
 7. BY HIGHEST n define
 8. 完全な MERGE サポート
 - SQL 関数

1. EXCEPT
2. INTERSECT
3. QUARTER()/EXTRACT(QUARTER)

- **Amazon Redshift アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Amazon Redshift アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. PHONETIC(PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)
- SQL 関数
 1. PHONETIC(PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)
 2. ASCII()
 3. HEX()
 4. INTERSECT ALL
 5. EXCEPT ALL

- **PostgreSQL アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、PostgreSQL V15 アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. REGEX
- SQL 関数
 1. REGEXP_INSTR
 2. REGEXP_COUNT
 3. RLIKE

バージョン 9.3.0 以降、PostgreSQL バージョン 14.2 アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. DATEDIFF(DAY)
 2. MDE. 集約接頭語の最適化
 3. COMPUTE の MISSING
- SQL 関数

1. REGEXP_SUBSTR
2. REGEXP_COUNT
3. TOKEN

- **Microsoft Azure Synapse Analytics アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Microsoft Azure Synapse Analytics アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. DT_FORMAT()
 2. DB_INFILE(multi-pair)
 3. LIKE ESCAPE
 4. MIN()/MAX() スカラ関数
 5. ブランクなしの TRIM()
- SQL 関数
 1. DT_FORMAT()
 2. RAND()
 3. サンプルング
 4. ブランクなしの TRIM()
 5. GREATEST()/LEAST()
 6. LISTAGG()
 7. APPROX_COUNT_DISTINC()

- **EXASoI アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、EXASoI アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. PARTITION_AGGR,
 2. 任意文字の TRIM
 3. DATEDIFF(DAY)
 4. DTPART(DAY_OF_YEAR)

5. HPART('DAY-OF-YEAR')

6. マルチカラムの IN

7. クロス DBMS DB_INFILE

- SQL 関数

1. TO_UNIXTIME

- **Cloudera Impala to Access Data Managed by Hadoop アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降では、Cloudera Impala to Access Data Managed by Hadoop アダプタでは、次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. 任意文字の TRIM

2. DT_FORMAT(一部のフォーマット)

3. HPART(DAY_OF_YEAR|DAY_OF_WEEK|MILLISECOND|MICROSECOND)

4. DTPART(DAY_OF_YEAR|DAY_OF_WEEK|MILLISECOND|MICROSECOND)

5. マルチペア DB_INFILE

- SQL 関数

1. DAY_OF_YEAR

- **H2 Database アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、H2 Database アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. TOKEN(negative)

2. 完全な MERGE サポート

3. BY HIGHEST n define

4. COMPUTE の MISSING

5. vector IN

6. MDE.

7. 任意文字の TRIM

- **Sybase アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Sybase アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. 完全な MERGE サポート
 2. マルチペア DB_INFILE
 3. COMPUTE の MISSING
 4. TRUNCATE()

- **SAP Hana アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、SAP Hana アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. DATEADD()
 2. TOKEN(negative)
 3. GET_TOKEN(negative)
 4. DTPART(millisecond, microsecond)
 5. HPART(millisecond, microsecond)
 6. COMPUTE の MISSING

- **MySQL アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、MySQL アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. PARTITION_REF
 2. PARTITION_AGGR
 3. RANKED BY
 4. BY HIGHEST|LOWEST n
 5. COMPUTE の MISSING

- SQL 関数

1. 分析関数

- **Apache Hive to Access Data Managed by Hadoop アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Apache Hive to Access Data Managed by Hadoop アダプタがでは、次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. DTPART(DAY_OF_YEAR, MILLISECOND)
2. HPART(DAY_OF_YEAR, MILLISECOND)
3. PATTERNS
4. COMPUTE の MISSING
5. DB_INFILE(multi-pair)
6. vector IN
7. 任意文字の TRIM

- SQL 関数

1. DISTINCT + GROUP BY

- **Apache Spark アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Apache Spark アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. DTPART(DAY_OF_YEAR, MILLISECOND)
2. HPART(DAY_OF_YEAR, MILLISECOND)
3. PATTERNS
4. COMPUTE の MISSING
5. DB_INFILE(multi-pair)
6. vector IN
7. 任意文字の TRIM

- SQL 関数

1. DISTINCT + GROUP BY

- **Amazon Athena アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Amazon Athena アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. 任意文字の TRIM
 2. PHONETIC(PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)
 3. DTPART(MILLISECOND|MICROSECOND)
 4. HPART(MILLISECOND|MICROSECOND)
 5. MIN/MAX スカラ関数
 6. マルチカラムの IN
 7. クロス DBMS DB_INFILE
 8. マルチペア DB_INFILE
- SQL 関数
 1. REGEXP_INSTR
 2. REGEXP_COUNT
 3. RANGE (分析関数ウィンドウフレーム)
 4. GROUPS (分析関数ウィンドウフレーム)
 5. MODE (approximate)
 6. INTERSECT
 7. INTERSECT ALL
 8. EXCEPT
 9. EXCEPT ALL
 10. PHONETIC(PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)
 11. ASCII
 12. LENGTH
 - **Presto アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Presto アダプタでは次の関数がサポートされています。

 - テーブル関数
 1. 任意文字の TRIM
 2. PHONETIC(PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)
 3. DTPART(MILLISECOND|MICROSECOND)

4. HPART(MILLISECOND|MICROSECOND)
 5. MIN/MAX スカラ関数
 6. マルチカラムの IN
 7. クロス DBMS DB_INFILE
 8. マルチペア DB_INFILE
- SQL 関数
 1. REGEXP_INSTR
 2. REGEXP_COUNT
 3. RANGE (分析関数ウィンドウフレーム)
 4. GROUPS (分析関数ウィンドウフレーム)
 5. MODE (approximate)
 6. INTERSECT
 7. INTERSECT ALL
 8. EXCEPT
 9. EXCEPT ALL
 10. PHONETIC(PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)
 11. ASCII
 12. LENGTH
 - **ibi™ WebFOCUS® Client および Server でサポートされるオフラインでホストされるヘルプ**

ibi™ WebFOCUS® Client および Server のすべてのマニュアルを docs.tibco.com からダウンロードし、ローカルサーバまたは代替リモートサーバ上でオンラインヘルプとして構成することができるようになりました。詳細は、『ibi™ WebFOCUS® インストールガイド for Linux/UNIX』および『ibi™ WebFOCUS® インストールガイド for Windows』の「ibi™ WebFOCUS® ヘルプ」のトピックを参照してください。
 - **FOCUSPAGES 関数**

バージョン 9.3.0 以降、新しい FOCUS 関数である FOCUSPAGES が、すべてのプラットフォームで使用できるようになりました。この関数を使用すると、ファイルサイズをページ数として確認できます。? FILE (filename) によって返される値と同一の値を返します。この関数によって返された値を変数に保存し、ファイルにデータが存在するかどうかを確認するために使用できます。

- **マイグレートツール**

新しいマイグレートツールを使用すると、あるプラットフォームから別のプラットフォーム、さらにはクラウドへのマイグレートが容易になります。環境内のメタデータを分析し、構成をエクスポートして新しいシステムにマイグレートできます。

- **スタンドアロンの Hyperstage PG**

Hyperstage PG は、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server のパッケージからは除外されていますが、Linux および Windows プラットフォームでは、スタンドアロンとしてインストールすることができます。

- **Analytic Document グラフおよびレポートの新しいスタイルプロパティ**

Analytic Document のグラフとレポートのスタイルシートに、新しいプロパティ AR_SHOW_MENU が追加されました。このプロパティは、デフォルトでオンに設定されています。オフに設定すると、右上の [...] メニューが非表示になります。

- **IbComposer_resetInputControl 関数**

ibi™ WebFOCUS® App Studio では、新しい関数 IbComposer_resetInputControl が使用できます。この関数を使用すると、コントロールを元の状態にリセットできます。

- **マップのパラメータフィールドリスト**

バージョン 9.3.0 以降、マップでパラメータフィールドリストの追加がサポートされます。

- **マップのスタイルシートテーマ**

バージョン 9.3.0 以降、マップでスタイルシートテーマの追加がサポートされます。

- **XLSX 複合レポートのバースト**

バージョン 9.3.0 以降、XLSX 複合レポートのバーストがサポートされています。

- **顧客 ID の必須化**

このバージョンでは、インストール時に ibi™ WebFOCUS® ソフトウェアとともに提供される顧客 ID の入力が必要となっています。

- **Excel ドキュメント内のコンポーネントの配置**

Excel 複合ドキュメントにコンポーネントを配置できるようになりました。項目を単数または複数のワークシート上に配置することも、セル単位で固定された位置に配置することも、相互に相対的に配置することもできます。

- **ライセンス有効期限のアラート通知**

バージョン 9.3.0 以降、ライセンスと顧客 ID の有効期限が切れる前に、Email 通知が送信されるよう設定できます。

- **積み上げ棒グラフの NULL シリーズ**

バージョン 9.3.0 以降、積み上げ棒グラフから NULL 値を削除できるようになりました。

- **Designer でサポートされる NLQ 機能**

バージョン 9.3.0 以降、Designer から NLQ 機能にアクセスできるようになりました。

- **マルチレイヤマップでのドリルダウンサポート**

バージョン 9.3.0 以降、マルチレイヤマップでドリルダウン機能がサポートされるようになりました。

- **Designer のアコーディオンレポートサポート**

バージョン 9.3.0 以降、Designer でアコーディオンレポート機能がサポートされるようになりました。

- **Designer でサポートされる列幅**

バージョン 9.3.0 以降、Designer によるレポートの作成時に、列幅機能がサポートされます。

- **Designer オートプロンプトテンプレートの新規ウィンドウで実行オプション**

Designer のオートプロンプトテンプレートで [新規ウィンドウで実行] オプションが利用できるようになりました。これにより、パラメータ化されたコンテンツを現在のウィンドウではなく新しいウィンドウで実行できるようになりました。

- **FOCUS および CRTFORM で有効化された UTF サポート**

このバージョンのインタラクティブ FOCUS および CRTFORM では、データ、メタデータ、MOIDFY、DM、TALK、およびその他の関連機能について、Unicode 変換形式 (UTF) が完全にサポートされるようになりました。

- **AHTML グラフでの 1 兆圧縮の有効化**

AHTML のグラフとレポートで 1 兆単位の圧縮が有効になりました。「兆」を超えるデータ値には、「T」が追加されます。

機能の変更点

ibi™ WebFOCUS® の今回のリリースで変更された機能は次のとおりです。

- AHTMLチャートを作成する際、見出しとフッターは常にチャートに埋め込まれます。

- ワークスペースを作成し、その名前で大文字と小文字を区別した文字を使用する場合、大文字と小文字の設定に関係なく、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server は常に関連付けられたアプリケーションディレクトリ名を小文字で作成します。
- ibi™ WebFOCUS® App Studio で、新しい値 `SHOW_DISPLAY` が `WF_composer_skip_missing_values` プロパティに追加されました。この値を使用すると、すべての欠損値が表示されます。この値を追加するには、**Admin Console > Custom Settings** に移動します。
- 新しいインストールで、既存のリポジトリを選択した場合、Windows で `db_lb_update.bat` を、UNIX/Linux で `db_lb_update.sh` を実行する必要があります。
- リリース 9.3.0 以降、Adapter for Python に以下の変更が加えられました。
 - z/OS プラットフォームではサポートされなくなりました。
 - Windows x64 および Linux Intel x64 プラットフォームでのみサポートされるようになりました。
 - プリインストール済みの Python リリースは、Windows x64 および Linux Intel x64 プラットフォームでは提供されなくなりました。したがって、これらのプラットフォームに Python を別途インストールする必要があります。サポートされている唯一の Python リリースは 3.9.x です。

Python のインストール手順については、[Get Data] ページの [Adapter for Python] アイコンを右クリックし、**Prerequisites** をクリックしてください。

- WHERE および IF 選択テストで、IN 演算子を使用する場合、リスト内の要素を区切るには、コンマを区切り文字として使用する必要があります。
- メインフレーム FOCUS では、画面のコンテンツが 24 行を超える場合、残りのコンテンツは後続のページに表示されます。ナビゲーションオプションはすべてのページに表示されます。

移行と互換性

ibi™ WebFOCUS® の今回のリリースには、移行手順や互換性の問題はありません。

修正済み問題

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® で修正済み問題は次のとおりです。

キー	概要
ACT-2441	AHTML リクエストで、COMPRESS が OFF に設定され、返される行が1行のみの場合、リクエストが失敗し、出力がブランクになります。(02204466)
ACT-2421	AHTML レポートで、スタイルシートで HFREEZE=ON が使用されている場合、ページ区切りが期待どおりに機能しません。(02185224)
ACT-2420	Designer のプレビューモードで列グループ (ACROSS) を使用すると、条件付きスタイルが正しく表示されません。(02176377)
ACT-2410	AHTML 折れ線グラフで、X 軸の値の順序によって折れ線グラフが壊れます。(02150480)
ACT-2409	AHTML レポートでグリッドツールを使用し、スタイルシートで HFREEZE=ON が使用されている場合、誤ったソート順が表示されます。(02173662)
ACT-2403	AHTML レポートのスタイルシートで HFREEZE=ON、 HFREEZE=ON、SUBTOTALS が使用され、列がページ幅を超えている場合、SUBTOTAL 行がデータ列と揃いません。(02113811)
ACT-2279	AHTML レポートでリストツールを使用し、スタイルシートで HFREEZE=ON を設定した場合、列に誤ったソート順が表示されます。(02030936)
ACT-2254	AHTML リクエストで、SET NODATA='' コマンドがミッシングおよびミッシングではない値とともに使用されている場合、Excel にファイルが壊れていることを示すエラーメッセージが表示されます。(02203164、02030178、02090815)
BIP-5244	ibi™ WebFOCUS® ポータルの上 部と側 部のナビゲーション

キー	概要
	に、折りたたみ可能なナビゲーション矢印が表示されません。(02185013)
BIP-5237	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.0.4 から 9.1.1 にアップグレード後、V4 ポータルが表示されません。(02178734)
CD-5718	Designer で [インサイト実行] オプションを選択またはクリアすると、エラーメッセージが表示されます。この問題は、レポートまたはグラフを作成し、フィルタを追加するために値を含めたり除外したりしたすると発生します。(02235234)
CD-5468	新しいビジュアライゼーションを保存しても、期待どおりに現在のディレクトリまたはワークスペースに保存されません。(02200741)
CD-5461	Designer で、ドリルダウンフィルタに値と変数が含まれている場合、このフィルタを開いて編集することができません。(02203914)
CD-5449	マスターファイルに TITLE というフィールド名が含まれている場合、複数のレポートで完全修飾名を使用せずに DEFINE フィールドを作成すると、エラーが発生します。(02169685)
CD-5421	ibi™ WebFOCUS® Designer で、コンテンツタイプをグラフからレポートに変更後、さらにレポートからグラフに変更すると、シリーズの色が適用されません。この問題は、CHART-COLOR-MEASURES が OFF に設定されるために発生します。(02223778)
CD-5332	マスターファイルで DBA を使用すると、マスターファイルの Designer へのロードに時間がかかります。(02221359)
CD-5308	ibi™ WebFOCUS® Designer で、ACFCEPT 条件を使用するフィルタを [フィルタ] バケットに追加すると、エラーメッセージが表示されます。(02221114、02223937)

キー	概要
CD-5243	ibi™ WebFOCUS® Designer で、多数のサブフォルダを含むアプリケーションフォルダに移動してマスターファイルを検索すると、検索が遅くなります。(02201604)
CD-5219	ibi™ WebFOCUS® Designer で、ページがロードされる前に [出力フォーマット] メニューをクリックすると、選択されていないものも含めて、すべての出力フォーマットが表示されます。(02209975)
CD-5208	ibi™ WebFOCUS® Designer で、すべての値を含む静的フィルタを設定すると、ページが複数ページに分割されている場合でも、単一ページの値のみが適用されます。(02210034、02213571、02216454)
CD-5174	ibi™ WebFOCUS® Designer で、DEFINE フィールドにミッシング値が含まれている場合、動的グループを作成することができません。(02206596)
CD-5128	ibi™ WebFOCUS® Designer で、オートドリルダウンを有効にした既存のレポートで Exception Check Logs エラーが表示されます。(02200712)
CD-5047	ibi™ WebFOCUS® Designer で、グラフまたはレポートを再び開いた場合、[実行時に選択] 出力フォーマットオプションが保持されません。
CD-5004	ibi™ WebFOCUS® Designer で、CRFILE クロスリファレンスが設定されたマスターファイルを使用するとエラーが発生します。(021944290)
CD-5003	9.2.0 にアップグレード後、一部のマスターファイルを使用してレポートを作成すると、エラーが発生します。
CD-4974	ibi™ WebFOCUS® Designer の SQL エディタで、アプリケー

キー	概要
	ション名が長すぎる場合にエラーが発生します。(02189950)
CD-4929	ibi™ WebFOCUS® Designer で、YYMD. のようなピリオド (.) で区切られた日付フォーマットが機能しません。(02185973)
CD-4927	ibi™ WebFOCUS® Designer の[フィルタの追加]で、最初のページの[データから選択]ダイアログボックスで、静的フィルターバケットに最初の 25 個の値のみが表示されます。(02187886)
CD-4912	ibi™ WebFOCUS® Designer でパラメータ名を変更した場合、変更が出力に反映されません。(02028823)
CD-4852	バージョン 9.1 から 9.2 にアップグレード後、ibi™ WebFOCUS® Designer のリポジトリで、FROM... TO フィルタパラメータを使用する新しいコンテンツが保存できません。(02182469)
CD-4833	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で SET HOLDFORMAT = ALPHA を使用すると、InfoAssist が起動できなくなります。(02122169、02180422)
CD-4828	ibi™ WebFOCUS® Designer で、保存済みドキュメントにプロンプト変数が含まれている場合、9.2.0 では編集できません。(02200251)
CD-4817	ibi™ WebFOCUS® Designer で、DEFINE フィールドを含む HOLD ファイルで、FIELDNAME NOT RECOGNIZED エラーが発生します。(02180100)
CD-4810	ibi™ WebFOCUS® Designer の[詳細]バケットに 99 個を超えるフィールドを追加することができません。(02179180)
CD-4786	ibi™ WebFOCUS® Designer で、レポートオブジェクトを編集

キー	概要
	することができません。(02169926、02222125)
CD-4766	ibi™ WebFOCUS® Designer のフィルタシェルフで必須の選択項目を選択すると、ターゲットプロシジャにプロンプト出力が表示されます。(02171738)
CD-4761	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist でパラメータフィールドリストを作成する場合、日付フィールドおよび位置情報フィールドをリストに配置することができません。(02171386、02184987)
CD-4700	ibi™ WebFOCUS® Designer で、[実行時に選択] 出力フォーマットでコンテンツを保存後、[出力フォーマット] として [HTML5] が表示されます。(02183727)
CD-4512	ibi™ WebFOCUS® Designer で Firefox (UTF-8) を使用すると、[演算の追加] ウィンドウのフォントが変更されます。(02130268)
CD-4146	マスターファイルにカスタム階層を作成し、このマスターファイルからビジュアライゼーションを作成すると、新しい階層のフィールドが正しいフォルダに表示されません。(02084954)
CD-3636	ibi™ WebFOCUS® Designer でレポートを作成する際に、同名の2つのフィールドをフィルタとして追加した場合、オートプロンプトページにドロップダウンが1つだけ表示されます。(02033978)
CLRPT-4189	セキュリティを [認証情報の要求] に設定して最初のログイン時にテキストエディタからプロシジャを実行すると、doSubmit の値の入力が要求されます。(02225827)
CLRPT-4187	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.06 から 9.2.1 にマイグレート後、一部のレポートでドリルダウンをクリックすると、site.wfs で設定されている場合でも、[IBIC_server] の値の入力が要求

キー	概要
	されます。(02226605)
CLRPT-4177	ibi™ WebFOCUS® で、レポートの実行時に、デフォルト値にエスケープリテラルのアンパサンド (&) 文字が含まれている場合、この値をグローバル変数を使用して設定することができません。(02222137)
CLRPT-4143	ibi™ WebFOCUS® で Solr サービスが実行されていない場合、軽量プロセス (NLWP) 接続エビクタの数が増加し続けます。(02201420)
CLRPT-4133	プロシジャのパラメータにデフォルト値を指定する場合、システム変数 &REMOTE_HOST、&REMOTE_ADDR、&QUERY_STRING が渡される代わりに、プロンプトが表示されます。(02216242)
CLRPT-4066	[最新のアクセス時間を更新] が [オフ] に設定されていても、プロシジャのプロパティで更新されます。(02214901)
CLRPT-4048	ログアウト時に tracking.xml ファイルが更新され、パフォーマンスに影響する可能性があります。(02204351)
CLRPT-4041	[最新のアクセス時間を更新] (IBI_UPDATE_LAST_ACCESS=OFF) コマンドが無視されます。(02203639、02214901)
CLRPT-3996	AHTML レポートからポータルへのドリルダウンを実行すると、値 (日本語データ) の転送が完了しません。(02194359)
CLRPT-3983	SJIS 環境で edasprof.prf ファイルに [CURRSYMB=EUR] を設定すると、InfoAssist が開始しません。(02194331)
CLRPT-3958	多数の Reporting Server を外部セキュリティと多数のユーザーで構成すると、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。(021745720)

キー	概要
CLRPT-3950	Git アダプタで、[ソース管理を有効にする] ダイアログボックスの [ソース管理] で [アプリケーションをソース管理下に配置] を選択すると、内部 IBFS エラーが発生します。(02207517)
CLRPT-3939	Designer でビジュアライゼーションを作成し、日本語の文字を使用して名前を付けると、エラーメッセージが表示され、コンテンツが作成されません。(02187142)
CLRPT-3936	バージョン 9.1.1 にアップグレード後、特定の InfoAssist レポートまたはグラフを開くと、修復不能なエラーが発生します。(02179361、02186364)
CLRPT-3931	バージョン 9.2.0 にアップグレード後、一部のレポートオブジェクトを編集または複製できなくなります。(02188787)
CLRPT-3924	InfoAssist で同一項目に対して複数の動的フィルタを設定すると、エラーが発生し、プロシジャファイルを保存できなくなります。(02182537)
CLRPT-3920	バージョン 8.2.06 から 9.2.0 にアップグレード後、バージョン 8.2.06 で動作していた一部のコードが 9.2.0 では動作しなくなります。この問題は、主にコード内のコメントが最初の列から開始されていない場合に発生します。(02184801、02213173)
CLRPT-3904	PCHOLD AS name FORMAT XLSX ステートメントを含むレポートを ibi™ WebFOCUS® Hub から実行すると、AS 名ではなく実際のプロシジャ名の Excel ファイルがダウンロードされます。(02191602、02185767)
CLRPT-3890	ISO-8859-1 または ISO-8859-15 エンコードの WebSphere Application Server (WAS) で特殊文字を含むレポートを実行すると、エラーが発生します。(02170040)

キー	概要
CLRPT-3859	ビジュアライゼーションを作成する際に、[データソースの選択] ダイアログボックスに日本語のアプリケーションフォルダが表示されません。(02176865)
CLRPT-3857	mrddtcleanup.bat ファイルをサイレントモードまたはインタラクティブモードで実行すると、 java.lang.NullPointerException: null メッセージが表示されます。(02177432)
CLRPT-3855	バージョン 9.1.1 にアップグレード後に db_inplace_update.bat ファイルを実行すると、インストールエラーメッセージが表示されます。(02173547)
CLRPT-3839	変数名に日本語の文字が使用されている場合、[デフォルト実行] が失敗します。(02174869)
CLRPT-3825	ibi™ WebFOCUS® で変更管理パッケージを作成しようとする と、エクスポートプロセスが応答を停止し、完了しません。この問題は、ユーザ ID にハイフン (-) が含まれている場合に発生します。(02175293)
CLRPT-3779	バージョン 8.1.05 から 8.2.07 にアップグレード後、複数の HTML ファイルを呼び出すレポートを実行すると、400-Bad Request エラーが発生します。(02164451)
CLRPT-3766	db_lb_update.bat ファイルを実行すると、Oracle および MSSQL データベースのマイグレートエラーが発生します。
CLRPT-3713	セキュリティセンターに多数のグループが存在する場合、ibi™ WebFOCUS® に初めてログインするときに時間がかかることがあります。(02158239)
CLRPT-3679	ソース管理下にあり、ブランチで不要になったファイルを ibi™ WebFOCUS® ワークスペースから削除する方法がありません

キー	概要
	ん。(02154387)
CLRPT-3678	WebFOCUS Git オプションから [コミット とプッシュ] コマンドを使用する際に、サブフォルダレベルに新しいプロシジャが存在する場合、変更または更新されたプロシジャがリモートリポジトリにプッシュされません。(02154386)
IA-12297	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、パイプ () 文字を使用するパラメータフィルタが動作しません。(02215445)
IA-12295	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist の一部のレポートで、プロシジャの DEFINE フィールドの順序が変更されるため、エラーが発生します。(02212179)
IA-12286	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で同名の DEFINE フィールドが複数存在するレポートを開くと、リソース使用量が急増し、パフォーマンスに影響します。(02194821)
IA-12231	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、[新規格] オプションを使用して作成されたフィルタが含まれるコンテンツに DEFINE または COMPUTE を作成した場合、フィールドが見つからないことを示すメッセージが表示されます。(02176608)
IA-12230	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist の JOIN で、両方の JOIN の背景色が黒のため、2 番目のマスターファイルの [X]を確認することができません。(02176603)
IA-12222	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、ドキュメント内のグラフに、出力フォーマットで適用可能な [インタラクティブ] オプションが表示されません。(02171249)
IA-12195	フィルタのパラメータを選択後、一部の演算子がリストに表示されません。(02162615、02175422)

キー	概要
IA-12192	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist でコンテンツを再び開くと、以前に[新規格] オプションで作成したフィルタが変更される場合や、このフィルタでエラーが発生する場合があります。 (02159870)
IA-12179	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、列タイトルをオンまたはオフにして保存したレポートを再び開くと、エラーが発生します。 (02157619)
IA-12129	バージョン 8.2.07.28 にマイグレートすると、DEFINE と JOINS の配置によってエラーが発生します。(02128012、02173959)
IA-12088	バージョン 8.2.07.28 にアップグレード後、複数の DEFINE フィールドを含むレポートを InfoAssist で開くと、システムが応答を停止し、Java の CPU 使用率が非常に高くなります。 (02113472)
IA-11990	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、末尾のブランクがテキストの一部である場合、見出しまたは脚注ウィンドウにテキストを貼り付けることができません。(02087717、02095679)
IA-11895	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、レポートを保存して再び開くと、MAX. 集計が設定された中間合計が、SUM. 集計に変更されます。(02064506)
IA-11147	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、[ファイルの有無をテスト] オプションを使用してアラートを作成した場合、完全修飾パスからダッシュ(-) が削除されます。(02029017、02213510)
IA-8656	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で円グラフにソートを適用すると、ドリルダウンボタンが無効になります。(02027611)
IBIAS-8680	ibi™ WebFOCUS® App Studio で入力フィールドから複数の値を渡す場合、これらの値の修正後に一部のフィールドに対

キー	概要
	して _FOC_NULL が返されます。(02225969)
IBIAS-8678	ibi™ WebFOCUS® App Studio で MAINTAIN フォームのコントロールを初期 ページでロードしない設定にしても、これらがロードされます。(02224966)
IBIAS-8676	ibi™ WebFOCUS® App Studio で [リクエストとデータソース] のサブメニューを表示 後、サブメニューを開いてブランクのエリアをすばやくクリックすると、App Studio が終了します。(02223160)
IBIAS-8675	App Studio の HTML ページで最大化された出力ウィジェットを最小化すると、ウィンドウとウィジェット の間にわずかな隙間が残ります。(02221010)
IBIAS-8663	ibi™ WebFOCUS® App Studio ヘルプをローカルに展開すると、内部 ヘルプビューアに期待どおりに表示されません。(02221530)
IBIAS-8657	Designer ポータルで、HTML ページの連鎖パラメータがセカンダリページに渡されません。(02219049)
IBIAS-8653	HTML ページの IFRAME をターゲットとする AHTML レポートでドリルダウンを実行すると、ドリルダウンがIFRAMEではなく新しいブラウザタブで開きます。(02141476)
IBIAS-8651	Designer ポータルで、ページ間を移動すると、onInitialUpdate 関数によって初期化されたカレンダーフィルタコントロールの日付が消失します。(02218011)
IBIAS-8646	ibi™ WebFOCUS® App Studio MAINTAIN でブランクのデータグリッドを実行すると、JavaScript エラーが発生します。(02216516)
IBIAS-8645	特定のプロシジャで、ibi™ WebFOCUS® App Studio

キー	概要
	8.2.07.28 が応答を停止します。(02207099)
IBIAS-8635	セッションがタイムアウトした場合、ユーザをログインページに移動させる代わりに、XML エラーが表示されます。(02141604)
IBIAS-8630	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.2.1 で、HTML リソースレイアウトページでグローバル名属性を使用すると、その属性が新しい HTML ページに渡されません。(02209900)
IBIAS-8629	ibi™ WebFOCUS® App Studio で SAML と匿名認証を使用して接続しようすると、エラーが発生します。(02209872)
IBIAS-8627	保存したパラメータセットを使用してプロシジャを実行すると、HTML ページを開く代わりに、[パラメータの保存] ウィンドウが表示されます。(02211368)
IBIAS-8625	ibi™ WebFOCUS® App Studio で IP アドレスを使用して環境を構成すると、レポートの実行中に Cookie エラーが発生します。(02202761)
IBIAS-8622	ドロップダウンを設定した HTML ページで、[実行] ボタンの矢印が表示されません。(02203117、02203619)
IBIAS-8621	ibi™ WebFOCUS® App Studio でレポートの出力先として [ファイルの保存] を選択すると、Excel テンプレートの設定が自動的に削除されます。(02205837)
IBIAS-8620	Designer オートプロンプトテンプレートが、タブコンテナで動作しません。(02203117、02203619)
IBIAS-8619	新しい HTML を作成してボタンタイプの値を [送信] または [リセット] に変更すると、HTML ファイルを保存後、変数の値が「ボタン」(Button) に戻ります。(02207008)

キー	概要
IBIAS-8617	App Studio の HTML ページのカレンダーコントロールで、「on blur」イベントおよび「on focus」イベントが動作しません。 (02206391)
IBIAS-8611	App Studio で PDF ファイルを作成する場合、[デザイン] タブと [ソース] タブを切り替えると改行が削除されます。(02199935)
IBIAS-8610	ibi™ WebFOCUS® App Studio バージョン 9.2.1 にアップグレード後、SQL レポート ウィザードに接続が表示されません。 (02194489、02212161)
IBIAS-8609	ダブルリストで [ページ/検索] コントロールを使用すると、[最後] ボタンと [すべてリセット] ボタンが期待どおりに動作しません。 (02201137)
IBIAS-8601	ibi™ WebFOCUS® App Studio バージョン 9.2.0 で開発者が 2 つの環境を切り替えると、アクセス拒否エラーが発生します。 (02199287)
IBIAS-8599	ibi™ WebFOCUS® App Studio バージョン 9.2.0 にアップグレード後、PDF ファイルまたは XLSX ファイルをダウンロードすると、ウィンドウが自動的に閉じません。(02198533)
IBIAS-8591	ibi™ WebFOCUS® App Studio バージョン 9.2.0 で、ユーザが選択内容を入力し、それを別のコントロールに挿入してフィルタを設定するコントロールの JavaScript が動作しません。 (02196394)
IBIAS-8580	ibi™ WebFOCUS® App Studio で HTML ページのテキスト領域に値を追加せずにパラメータ条件を保存後、ページをロードすると、テキスト領域に「FOC_NOSELECTION」と表示されます。(02188930)
IBIAS-8579	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.06 から 9.2.0 にマイグレート

キー	概要
	後、HTML ページの静的リストボックスコントロールに、値を持たない余分な要素が含まれます。(02193423)
IBIAS-8577	ibi™ WebFOCUS® App Studio で、値の長さがドロップダウンコントロールの幅に適合しない場合、ドロップダウンリスト上にマウスポインタを置いても値が表示されません。(02192008)
IBIAS-8575	ibi™ WebFOCUS® App Studio の HTML ページで、選択を行う前にダブルリストボックスの矢印がロードされます。(02192296)
IBIAS-8574	ibi™ WebFOCUS® App Studio で複数のアニメーションをロードする際に、HTML ページ上のスピナが残ります。(02192040)
IBIAS-8565	ibi™ WebFOCUS® App Studio で HTML ページを開くと、パラメータのデフォルト値が変更されたコンテンツのバインドが、コントロールから解除されます。(02191028)
IBIAS-8564	ibi™ WebFOCUS® App Studio の HTML ページの isoutputboundasvalue 属性の解釈が、バージョン 8.2.06 と 9.2.0 で異なります。(02191008)
IBIAS-8563	ibi™ WebFOCUS® App Studio で、アプリケーションフォルダ内のシノニムファイルから [レポートの作成] または「InfoAssist グラフの作成」を選択すると、エラーが発生します。(02187474)
IBIAS-8560	ibi™ WebFOCUS® App Studio 8207.28.13 Hotfix 20 以降、App Studio の HTML ページロードに時間がかかります。(02189040)
IBIAS-8556	ibi™ WebFOCUS® App Studio の連鎖した 2 つのカレンダー日付コントロールで、最初に開始日を選択しなくても、終了日のカレンダーを選択したり開いたりすることができます。(02185555)

キー	概要
IBIAS-8551	ibi™ WebFOCUS® App Studio の HTML ページで選択範囲を保存する場合、[フォーマットなしの値を送信] オプションが選択されていても、日付パラメータのフォーマットがスラッシュ (/) として設定されます。たとえば、「20230531」ではなく「2023/05/31」になります。(02187711)
IBIAS-8550	ibi™ WebFOCUS® App Studio の HTML ページで矢印ボタンをクリックしても、スライダコントロールの値が変更されないことがあります。(02185140)
IBIAS-8537	App Studio で、ダブルリストボックスにすべての値ではなく 50 個の値のみが表示されます。(02185286)
IBIAS-8532	HTML ページで、[設定] タブの [フォーマットなしの値を送信] オプションが有効になっていない場合、カレンダーコントロールが選択された値なしで送信される可能性があります。これは、コントロールの [プロパティ] パネルで選択と検証のオプションが [必要/検証なし] に設定されている場合に発生します。(02181438)
IBIAS-8529	ibi™ WebFOCUS® App Studio の HTML ページから、日付がプロシジャ (fex) に正しく送信されません。(02182104)
IBIAS-8520	ibi™ WebFOCUS® App Studio で、PPTX 出力フォーマットでダウンロードしたドキュメントを開くとエラーが表示されます。(02180186)
IBIAS-8519	ibi™ WebFOCUS® App Studio で、テキストエディタで 20 個の BY セグメントを含むレポートを編集し、テーマを適用すると、レポートを保存した後に App Studio が応答しなくなります。(02179762)
IBIAS-8517	ibi™ WebFOCUS® App Studio の HTML ページに複数のコントロールが存在する場合、MultiSourceTreeControl の Save

キー	概要
	パラメータにより、以前に保存されたレポートの値と、新しく保存されたレポートの値がロードされます。(02181143)
IBIAS-8507	Microsoft Edge、Google Chrome、または Mozilla Firefox Selenium で ibi™ WebFOCUS® App Studio を実行すると、以前に定義された Cookie が送信されません。(02177179)
IBIAS-8505	ibi™ WebFOCUS® App Studio をバージョン 8.1.05M から 9.0.4 にアップグレードすると、ドロップダウンを含む HTML コンポーザページの実行時に[表示フィールド]の値が表示されません。(02175956)
IBIAS-8491	ibi™ WebFOCUS® App Studio で [リクエストとデータソース] を使用し、プロシジャ内の変数名の末尾にアンダースコア (_) を追加すると、エラーが発生します。(02173297)
IBIAS-8482	オブジェクト インспекタの [JOIN] ウィンドウを閉じると、マスターファイルフィールドの代わりに [JOIN] ウィンドウが表示されます。(02172087)
IBIAS-8480	ibi™ WebFOCUS® App Studio バージョン 8.2.07 と 9.1.0 では、Default_theme.css が変更されたため、HTML リソースレイアウトページに影響します。(02166323)
IBIAS-8466	ibi™ WebFOCUS® App Studio のローカライズされた HTML ページでは、カレンダーコントロールの時刻、時、分、秒のラベルが翻訳されていません。(02171043)
IBIAS-8422	ibi™ WebFOCUS® App Studio で [選択項目を保存] パラメータを含む HTML ページにフランス語の文字 é が使用されている場合、ファイアウォールによってブロックされます。(02157707)
IBIAS-7955	ibi™ WebFOCUS® App Studio で SAML 認証を使用すると、

キー	概要
	ログイン資格情報を提供してもアクセスが拒否されます。 (02032600、02091290、02144565、02034731)
IBIDF-3990	同一パラメータとして静的な値と動的な値が両方設定された ibi™ WebFOCUS® Designer オートプロンプトを含むプロシジャを実行する場合、いずれの値も表示されません。 (02201784)
IBIDF-3918	日付フィルタを設定した場合、Designer ページのブックマークが追加した翌日から期待どおりに機能しません。(02209712)
IBIDF-3912	[FOCUS] タブのレポートで、ユーザによるパラメータの選択が待機されます。ただし、ユーザがその他のタブをクリックすると、パラメータやフィルタが選択されない状態で、レポートが実行されます。(02227099)
IBIDF-3908	ibi™ WebFOCUS® レポートオブジェクトを使用して作成されたグラフで、ドリルエニウェア機能が動作しません。(02225966)
IBIDF-3907	DEFINE フィールドと変数が設定された ibi™ WebFOCUS® Designer オートプロンプトレポートで、DEFINE フィールドが変数のデフォルト値が設定される前に呼び出されている場合、エラーが表示されます。(02222856)
IBIDF-3901	ibi™ WebFOCUS® Designer で、レスポンスオートプロンプトテンプレートを使用するパラメータ付きレポートを保存しようとすると、エラーが表示されます。(02224332)
IBIDF-3875	ibi™ WebFOCUS® でソースが複数選択の静的パラメータにバインドされている場合、ブックマークが期待通りに動作しません。(02215416)
IBIDF-3867	ibi™ WebFOCUS® Designer で、親フィルタ値がデフォルト設定で割り当てられている場合、マルチレベルの連鎖のサポート

キー	概要
	が失敗します。(02214397)
IBIDF-3851	ibi™ WebFOCUS® Designer でマイグレート済みの Designer ページに[エクスポート] オプションが表示されず、日付コントロールに問題があります。(02210465)
IBIDF-3850	ibi™ WebFOCUS® Designer で自動リフレッシュを有効にしてページを実行すると、構成エラーがスローされます。(02211787)
IBIDF-3847	ibi™ WebFOCUS® Designer で、[フィルタ] ドロップダウンリストに正しいフォーマットの日付が表示されません。(02205841)
IBIDF-3838	ibi™ WebFOCUS® Designer で、NULL 値の動作が[_FOC_NULL_] に設定されている場合、[新規ウィンドウで実行] オプションを選択すると、ブランクの画面が表示されます。(02209952)
IBIDF-3831	ibi™ WebFOCUS® Designer で作成したページを編集し、[名前を付けて保存] を選択して同名で保存した場合、ページのビジュアライゼーションから CSS と JS が削除されます。
IBIDF-3825	条件付きインタラクションを追加すると、ページ上のフィルタコントロールが再配置されます。(02206248)
IBIDF-3816	ビジュアライゼーションで、幅と高さの手動設定が期待どおりに動作しません。(02203946)
IBIDF-3786	選択コントロールを有効にしても、後続のフィルタが更新されませんでした。(02199872)
IBIDF-3748	ibi™ WebFOCUS® でメッセージビューアをオンにしてレポートを実行しても、ibi™ WebFOCUS® App Studio にメッセージが表示されません。[パラメータのプロンプト] を [デザイナー] に設定し

キー	概要
	たレポートを ibi™ WebFOCUS® Hub から直接実行した場合も、同様の動作が確認できます。(02186470)
IBIDF-3716	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server で pyserv_url が構成されていない場合、ibi™ WebFOCUS® Designer の[インサイト]機能が有効になります。(02203920)
IBIDF-3672	ibi™ WebFOCUS® 9.2.0 で、フィルタページングがデフォルト設定で有効になりません。(02186204)
IBIDF-3561	ibi™ WebFOCUS® Designer で、デフォルトオートプロンプトテンプレートが[デザイナ]に設定されている場合、[IBIMR_domain] および [IBIMR_fullpath] に誤った値が表示されます。(02166402、02177483)
IBIDF-3560	ibi™ WebFOCUS® Designer でテキストエディタからプロシジャを実行すると、オートプロンプトテンプレートによって FOC205 エラーがスローされます。(02166275、02193494)
IBIDF-3551	ibi™ WebFOCUS® Designer でフィールド名の文字がDBCSの場合、ドリルダウンにパラメータが渡されません。(02164709)
IBIDF-3507	ibi™ WebFOCUS® Designer のプロシジャで、マスターファイルフィルタに ACCEPT 値リストが使用されている場合、Designer ページのドロップダウンコントロールが動作しません。(02162033)
IBIDF-3489	ibi™ WebFOCUS® Designer のビジュアライゼーションを使用して作成されたページで、単一日付フィルタから取得される結果が正しくなりません。(02149325)
IBIDF-3423	ibi™ WebFOCUS® Designer で、動的フィルタソースの名前がDBCSの場合、フィールドデータが表示されません。(02150931)

キー	概要
IBIDP-226	ibi™ WebFOCUS® を以前のバージョンから新しいバージョンにマイグレートする場合、Designer ポータルのイメージが正しく配置されません。(02218230、02217054)
IBIINST-2709	App Studio のゼロフットプリント ネットワークインストールが実行できません。(02210241)
IBIPD-1750	ibi™ WebFOCUS® グローバル変数が有効な場合、フィルタに [すべて] の値が表示されます。(02210442)
IBIUX-2299	ibi™ WebFOCUS® Hub の [ポータル] エリアで、カスタムサムネールイメージが表示されません。(02193380、02206513)
IBIUX-2169	ibi™ WebFOCUS® で [データの探索] 機能を使用して任意のデータソースを検索すると、エラーが表示されます。(02209664)
IBIUX-2127	ibi™ WebFOCUS® Hub で、一部のファイルで表示サイズが 10 倍になります。(02195292)
IBIUX-2121	WebFOCUS ibi™ WebFOCUS® Hub で、同じ項目を複数回繰り返し右クリックした場合、使用したり閉じたりできない半透明のコンテキストメニューが表示されることがあります。(02190007、02200102)
IBIUX-2115	ibi™ WebFOCUS® 8.2.0.7 から ibi™ WebFOCUS® 9.2.0 にアップグレード後、ポータルからログアウトしようすると、ユーザはログアウトされず、ポータルに戻されます。(02181585)
IBIUX-2080	ibi™ WebFOCUS® Hub で、ユーザが [このユーザと共有] または [マイワークスペース] コマンドを使用後、[お気に入り] または [最近使ったファイル] が、複数回複製されます。(02188013)
IBIUX-2072	WebFOCUS ibi™ WebFOCUS® Hub でポータルにショート

キー	概要
	カットを追加しても、ワークスペースが更新されません。 (02188652)
IBIUX-1998	WebFOCUS ibi™ WebFOCUS® Hub で [このグループのルール] オプションのセキュリティルールセットのリストが表示されません。 (02188584、02184826、02186847、02192715)
IBIUX-1967	ibi™ WebFOCUS® Designer のビジュアライゼーションでマスターファイルを検索する場合、アプリケーションフォルダ、サブフォルダの一部がスキャンの対象から除外されます。 (02166024)
IBIUX-1746	ibi™ WebFOCUS® Designer でパラメータプロンプトのデフォルトオートプロンプトテンプレートが [レスポンス] に設定されている場合、オートプロンプトパネルが下部付近に表示され、見えなくなります。 (02160967、02205644)
IBIUX-1617	ibi™ WebFOCUS® 管理コンソールを直接 URL から起動した場合、標準の ibi™ WebFOCUS® インターフェーススタイルが適用されません。 (02208650、02221523)
IBIUX-1581	ibi™ WebFOCUS® Designer ポータルで、ユーザメニューが AODA (Accessibility for Ontarians with Disabilities Act) に準拠していません。 (02147233)
IDA-1490	NOPRINT フィールドが、AHTML ドリルダウンで使用されません。 (02223011)
IDA-1485	パーセントレイアウトオプションを使用して AHTML の棒グラフ、面グラフ、または折れ線グラフを作成する場合、レポートを実行して PNG ファイルとしてエクスポートしようすると、結果のイメージが、選択したパーセントレイアウトではなく積み上げグラフとして表示されます。 (02203160)
IDA-1450	AHTML レポートまたはグラフで、JavaScript ドリルダウン関数

キー	概要
	または Portaldispatch を使用すると、ブラウザおよびツールのコンソールにエラーが表示されます。(02196222)
IDA-1446	AHTML フォーマットで LAYOUTRTL= ON を設定すると、数値の左側ではなく右側にマイナス符号 (-) が表示されます。(02193995)
IDA-1425	Analytic Document で AHTML フォーマットの棒グラフ、面グラフ、または折れ線グラフを作成すると、軸タイトルを非表示にするプロパティを設定しても、軸タイトルが表示されます。(02172021、02176882、02183715)
IDA-1393	リストツールを使用後、Designer ページコンテナメニューから Analytic Document オプションが消失します。(02230159)
IDA-1165	Analytic Document のグラフで、大きい数値の略語 (例、英語で 1000 を表す K) が、ibi™ WebFOCUS® で選択した言語に翻訳されません。(02030731)
MNTRSV-108	MAINTAIN の呼び出しの間に 60 秒の遅延が発生します。(02217679)
MNTRSV-104	呼び出し先の子から呼び出し元の親 MAINTAIN に戻ると、コンテナを含むリポジトリの親フォームの再表示に失敗します。(02208231)
MNTRSV-101	MAINTAIN フォームのチェックボックスに、ラベルなしの複数のオプションが表示されます。(02218691)
MNTRSV-95	親 HTML ファイルが子 HTML ファイルを呼び出す場合、子 HTML を閉じてコントロールが親 HTML に戻されません。(02208231)
MNTRSV-85	ibi™ WebFOCUS® App Studio バージョン 9.1.0 または 9.2.0

キー	概要
	で外部 MAINTAIN プロシジャを実行すると、エラーが発生するか、出力が生成されません。(02181942、02184756)
MNTSRV-77	ibi™ WebFOCUS® App Studio MAINTAIN で A2000V フォーマットの 2 つのフィールドに対して WHERE 句を含む NEXT ステートメントを使用すると、フォームが表示されなくなります。(02161790)
RC-3002	REST サービスを通じてトレースを有効する目的で、ジョブオプションを使用してスケジュールを実行すると、トレースをアクティブにできません。(02221222)
RC-2678	WAR ファイルが WebSphere で展開されている場合、ibi™ WebFOCUS® ReportCaster で、ibi™ WebFOCUS® ReportCaster WSDL の FileUploadException エラーが発生します。(02200810)
RC-2630	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster で ibi™ WebFOCUS® ReportCaster スケジュールの有効期限が 10 年以上の日付に設定されている場合、ReportLibrary の有効期限に「なし」と表示されます。(02191213)
RC-2564	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster で [ReportCaster 最大接続数 (スレッド)] 設定が無視されます。(02177998、02186241、02197537、02217163)
RSTY-2508	ibi™ WebFOCUS® の PDF に、CRLF HEXBYT 13/10 を使用する Unicode が含まれている場合、文字列の末尾に長方形のボックスが表示されます。(02216862)
RSTY-2503	ibi™ WebFOCUS® で MISSING ON および HEADALIGN=BODY を指定し、XLSX AnV フォーマットを使用した場合、NODATA の指定にかかわらず、実際の V の長さに続いて、MISSING のピリオド (.) が表示されます。(02207120)

キー	概要
RSTY-2494	XLSX で、HEXBYT サブルーチン関数の ASCII コード 9 が四角いボックスとして表示されます。(02207195)
RSTY-2449	ibi™ WebFOCUS® で、複数のグラフとレポートを含む特定の XLSX ドキュメントでは、ワークシート上のすべてのグラフに対して壊れたイメージフレームが生成されます。(02244626)
RSTY-2429	ibi™ WebFOCUS® で、PDF ファイルの改ページが機能しません。(02170873)
RSTY-2428	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.1.05M と 9.1.1 で、PDF ファイルのサイズがおよそ 1 キロバイト異なります。(02170868)
RSTY-2358	ibi™ WebFOCUS® で Microsoft Office 2021 はサポートされていません。(02121734、02228126)
SRVADPT-2978	実フィールドにリンクされていない、SQL 関数を使用する DEFINE フィールドを使用すると、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server が動作を停止します。(02235390)
SRVADPT-2963	日本語環境で日付タイプの項目を含むデータをアップロードすると、データ統計を実行することができません。(02228649)
SRVADPT-2954	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.07.28.07 でマルチテナント環境を使用する場合、ログイン後にテナントエージェントが動作を停止します。(02211516)
SRVADPT-2937	Snowflake Cloud Data Warehouse アダプタを使用してシノニムを作成すると、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server エージェントが動作を停止します。(02232396、02232451、02232703、02233246)
SRVADPT-2885	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.02 からバージョン 8.2.07.28 にアップグレード後、特定の日付 2023/07 にフィルタ

キー	概要
	を設定できません。(02218721)
SRVADPT-2879	Google BigQuery アダプタで、テーブルから完全なデータが返されません。(02202940)
SRVADPT-2873	Tableau から ibi™ WebFOCUS® Open Visualization を介して 2 バイト文字データに接続すると、データが破損します。(02221665)
SRVADPT-2872	Fixed-Format および Delimited Files アダプタを使用してバージョン 8.2.06 で作成されたマスターファイルをバージョン 8.2.07 以降にマイグレートすると、異なる結果が表示されます。(02227365)
SRVADPT-2843	フローで BigQuery のソースとターゲットを使用する場合、ロードプロセスに 130,000 件以上のレコードが含まれていると、エージェントが強制終了されたことを示すエラーメッセージが表示されます。(02210488、02220898)
SRVADPT-2840	PeopleSoft アダプタでセキュリティの再同期が実行されると、HTTP リスナが機能しなくなります。(02224233)
SRVADPT-2821	SQL Server Analysis Services Tabular Data Model アダプタを使用して双方向 (ブリッジ) JOIN を実行する場合、JOIN の両側でフィールドを使用するプロシジャが失敗します。(02208600)
SRVADPT-2801	ibi™ WebFOCUS® Client アダプタのシノニムを作成する場合、[DBMS オブジェクトの表示] オプションに、利用可能なシノニムの一部が表示されません。(02213754、02208835)
SRVADPT-2799	MySQL クライアント 8.0.x をインストール後、デフォルト設定でローカルファイルのロードが無効になるため、バルクロードに失敗します。(02211342)

キー	概要
SRVADPT-2776	ibi™ WebFOCUS® Designer を使用して SQL Server にデータをアップロードする場合、Microsoft SQL Server 2012 Native Client がインストールされていないと、[既存データへマージ] 機能が期待どおりに動作しません。(02179436)
SRVADPT-2773	バージョン 8.2.07.28.13 から 9.2.1 にマイグレートすると、RedShift アダプタのマスターファイルに SQL パススルーを使用するプロシジャにより、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server エージェントが応答しなくなります。(02215693)
SRVADPT-2772	ibi™ WebFOCUS® Client をバージョン 8.2.01 から 8.2.07.28 にアップグレードすると、実稼働レポートの生成により多くの DBMS 時間が必要になり、出力ファイル(xlsx) が生成されません。(02212446)
SRVADPT-2754	REST アダプタを使用して JSON 本文を渡すと、エスケープ文字 (¥¥n) が改行文字 (n) に変換されますが、これをアダプタによって呼び出される SMS サービスで使うことができません。(02186374)
SRVADPT-2752	BigQuery パススルーリクエストが異なる場合、出力結果も異なります。(02210488、02195419、02202940、02220898)
SRVADPT-2738	SQL Server Analysis Services Tabular Data Model アダプタを使用して双方向 (ブリッジ) JOIN を実行する場合、JOIN の両側でフィールドを使用するプロシジャが失敗します。(02208600、02220874)
SRVADPT-2730	HOLD ファイルを SAP 汎用モジュールに結合するプロシジャを実行すると、エラーメッセージが生成されます。(02199809)
SRVADPT-2728	SAP HANA アダプタで、JDBC の SQL クエリプランが ODBC の SQL クエリプランと異なります。(02207697)

キー	概要
SRVADPT-2688	ODATA v4 リクエストを生成する一時項目の処理が改善されました。(02200674)
SRVADPT-2684	BigQuery パススルーリクエストが異なる場合、出力結果も異なります。(02195419)
SRVADPT-2671	データの定義 (Oracle データベーステーブルのカラムデータ長) がバージョン 8.1.05 と 9.1.0 で異なるため、Oracle (FOC1426) DATA ELEMENT VALUE TOO BIG FOR SEGMENT/FIELD with MISSING=ON メッセージが表示されます。(02183737)
SRVADPT-2663	ibm™ Data Migrator で NULL 値を処理すると、Web サービスが失敗します。(02201248)
SRVADPT-2632	ibm™ Data Migrator で、バージョン 8.2.06 から 9.1.1 にアップグレード後、シノニムに DB_INFILE フィルタが含まれているフローを実行すると、実行中のジョブが終了します。(02196320)
SRVADPT-2611	ビジネスビューのソート順で NULL 値を使用した場合、誤った結合結果が生成されます。(02195044)
SRVADPT-2591	ibm™ WebFOCUS® バージョン 8.2.07.28.14 で、ローカル一時テーブルの PERSISTENCE VOLATILE が Snowflake に実装されていないため、マイグレートに失敗します。(02195158)
SRVADPT-2589	i5 オペレーティングシステムで、同一のプロシジャを 2 回目に実行すると Db2 のパフォーマンスが低下します。(02180813)
SRVADPT-2588	ibm™ Data Migrator で、大規模な JOIN を含むデータフローが動作を停止します。(02194707)
SRVADPT-2572	データの定義 (Oracle データベーステーブルのカラムデータ長) がバージョン 8.1.05 と 9.1.0 で異なるため、Oracle (FOC1426) DATA ELEMENT VALUE TOO BIG FOR SEGMENT/FIELD with MISSING=ON メッセージが表示されます。(02183737)

キー	概要
SRVADPT-2565	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.06 から 9.2.0 にアップグレード後、レポートの実行時にエラーメッセージが表示されます。(02192002)
SRVADPT-2555	XML アダプタのマスターファイルを作成する際に、ローカルドキュメントプロパティが更新されない場合、ブランクの XML ファイルが作成されます。(02185844)
SRVADPT-2547	DB2 TIMESTAMP カラムの HOLD ファイルフォーマットが A29 になりました。(02186308、02186425)
SRVADPT-2543	フローの実行時に LAG 関数を使用すると、エラーメッセージが表示されます。(02181627)
SRVADPT-2533	REST アダプタで連鎖認証を構成すると、トークンの送信に失敗します。(02186345、02186875)
SRVADPT-2525	Oracle アダプタと Snowflake Cloud Data Warehouse アダプタで、NULL 値のソート順が異なります。(02163627、02180252)
SRVADPT-2521	Google BigQuery アダプタで、単一のリージョンで非同期クエリを実行すると、エラーが発生する場合があります。(02180638、02197460)
SRVADPT-2508	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server をバージョン 8.1.05M から 8207.28.09 にマイグレートすると、Netezza ソースデータベースへの汎用 ODBC 接続を使用するクラスタマスターファイルの実行に時間がかかります。(02180940)
SRVADPT-2487	HP Vertica アダプタで、Designer の [DEFINE] タブに誤った UTF-8 文字列が表示されます。(02174890)
SRVADPT-2485	Windows x86_64 システムで、マスターファイルで日付が

キー	概要
	USAGE=MDYY として定義されている場合、サードパーティ製品との統合のために ibi™ WebFOCUS® ODBC Client (setup_odbc_client) を展開することができません。(02177954)
SRVADPT-2452	2つの異なるデータソースを結合する場合、SQL JOIN は、効率的な処理である WHERE 句を使用した単一の SELECT として最適化されません。(02160916)
SRVADPT-2448	Amazon Athena アダプタのマスターファイルの FIELDNAME の値にマルチバイト文字が含まれている場合、レポートの実行時にエラーメッセージが表示されます。(02168645)
SRVADPT-2437	Microsoft SQL Server アダプタを OLEDB または ODBC で使用し、アクセスのテストや SQL Server バルクロードのテストを目的として Active Directory ユーザの信頼済み ID を渡そうとすると、エージェントが応答を停止します。(02167066)
SRVADPT-2305	HP Vertica アダプタを使用して、オーバーフロー桁が存在する数値データをアップロードすると、エラーメッセージが表示されます。(02144706)
SRVADPT-2232	GIS_REVERSE_COORDINATE 関数で MATCH_ADDRESS コンポーネントを使用すると、地理コンポーネントの値が切り捨てられます。(02132315)
SRVADPT-2142	REST アダプタを使用して SharePoint のシノニムを作成すると、データセット全体が取得されません。(02112956)
SRVADPT-2065	OData アダプタで、拡張コレクションのフィルタが失敗します。(02092518)
SRVADPT-2033	Hyperstage PG アダプタのシノニムを作成すると、シノニム候補のリストにビューが表示されません。(02094771)

キー	概要
SRVADPT-2025	Cloudera Impala to Access Data Managed by Hadoop アダプタでは、複数の DISTINCT 集計はサポートされていません。(02091203)
SRVADPT-1887	AIX オペレーティングシステムで、Kerberos 認証を使用して Cloudera Impala to Access Data Managed by Hadoop アダプタの接続構成が失敗します。(02032102)
SRVADPT-1858	ibi™ WebFOCUS® Designer で MSSQL ビット データタイプにフィルタを設定すると、エラーメッセージが表示されます。(02062732)
SRVADPT-1800	バージョン 8.2.07.28 以降の XLSX ファイルで、NULL フィールドが'' (ブランク) として処理されます。(02054732、02058112)
SRVADPT-1684	DTRUNC 関数の日付期間 WEEK および WEEK_END が、PostgreSQL アダプタ、Greenplum アダプタ、Hyperstage PG アダプタの BY 句に 1 日として追加されます。(02037169)
SRVADPT-1616	XML アダプタのシノニムを作成すると、エラーメッセージが表示されます。(02032957)
SRVADPT-1563	Sybase アダプタで、Trim、TRIMV、TRIM_ が最適化されません。(02030775)
SRVADPT-1532	ibi™ Data Migrator で、Parquet フォーマットのファイルを S3 バケットに書き出すフローを作成すると、エージェントがクラッシュします。(02031375)
SRVADPT-1506	JOIN 構文で DEFINE を使用すると、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server エージェントが機能しなくなります。(02030424)
SRVADPT-1001	シノニムエディタの [DEFINE] ダイアログボックスの [式の確認]

キー	概要
	オプションで、不均衡な IF THEN ELSE 構造が認識されません。(02029087)
SRVADPT-486	Python アダプタのシノニムを作成すると、エラーメッセージが表示されます。(190716122)
SRVADPT-307	IIAS/Db2 Warehouse のサポートが追加されました。(180502002、180926149、180321091)
SRVDA-2513	マスターファイルが APP MAP アプリケーション上に存在する場合、グラフのオートドリルダウンがアクティブになりません。(02224338)
SRVDA-2496	[データの取得] ページで Excel を使用してデータをアップロードする場合、選択した設定がシノニムに反映されません。(02233933)
SRVDA-2490	アプリケーションディレクトリでフォルダのプロパティをクリック後、[キャンセル] ボタンが表示されないため [プロパティ] ウィンドウを閉じることができなくなります。(02229866)
SRVDA-2482	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server コンソールの [リモートサーバの設定] ダイアログボックスに、[キャンセル] ボタンが表示されません。(02187772)
SRVDA-2481	[CODE_PAGE] を [273-IBM EDCDIC Germany F.R./Austria] に設定すると、 java.lang.NullPointerException エラーが表示されます。(02225168)
SRVDA-2480	ibi™ WebFOCUS® Designer で、REST アダプタを使用して作成されたシノニムを開くと、エラーメッセージが表示されます。(02231354)

キー	概要
SRVDA-2479	ibi™ WebFOCUS® Designer の [データ] タブでカラム、エイリアス、高度な式に同じ名前が指定されると、エラーメッセージが表示されます。(02223141)
SRVDA-2475	ibi™ WebFOCUS® Designer のビジネスビューで属性を非表示にすると、[プロパティ] ウィンドウが表示されます。(02229891)
SRVDA-2464	WebFOCUS ibi™ WebFOCUS® Hubで、データのアップロード時に小文字のフィールド名を使用すると、挿入される式に反映されません。(02223713)
SRVDA-2454	ibi™ WebFOCUS® Designer の [データ] タブの [タイプ] フィールドで UNION を実行すると、エラーメッセージが表示されます。(02226447)
SRVDA-2421	ibi™ WebFOCUS® Designer で DBA を使用すると、ビジネスビューのロードが遅くなる場合があります。(02221359)
SRVDA-2420	ibi™ WebFOCUS® Designer で、フィールドで ACCEPT を使用するビジネスビューを開くと、エラーが表示されます。(02221114)
SRVDA-2403	ibi™ WebFOCUS® Designer の [DEFINE] タブに、不明なエラーメッセージ (IA_230620_041227-1) が表示されます。(02190000)
SRVDA-2365	Web コンソールのシノニムエディタで条件式を指定後、[終了してフルコンソールに戻る] ボタンをクリックして [破棄] を選択した場合、指定した条件式は破棄されずに保存されます。(02206571)
SRVDA-2363	Designer のビジュアライゼーションで、ユーザ ID が長すぎる場合、SQL エディタでエラーが発生します。(02205663、

キー	概要
	02206292)
SRVDA-2350	ibi™ WebFOCUS® InfoAssistの DEFINE 関数で EDIT 関数を使用すると、エラーメッセージ表示されます。(02028880)
SRVDA-2342	ビジュアライゼーションを作成する際に、[永続抽出のステージング(ターゲット)]を作成し、同じファイル名に置き換えて保存すると、データフローが削除されます。(02191372、02189732、02206574)
SRVDA-2331	ibi™ WebFOCUS® Designer で、ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.06 から ibi™ WebFOCUS® 9.2.0 にマイグレートすると、BV_NAMESPACE=ON に設定されたビジネスビューでエラーメッセージが表示されます。(02189676)
SRVDA-2325	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist および ibi™ WebFOCUS® Designer で、DBA に RESTRICT 句を使用すると、TITLE および DESCRIPTION のコンテンツは表示されず、代わりに FIELDNAME が表示されます。(02173015)
SRVDA-2318	ibi™ WebFOCUS® Designer で、複数のプライマリキーを持つマスターファイルを結合すると、キーが単一キーに変更されます。(02190481)
SRVDA-2316	ibi™ WebFOCUS® Designer で、シノニムに複数の結合キーを指定すると、FOC1400 エラーおよび FOC1500 エラーが表示されます。(02189175)
SRVDA-2271	マルチファクト マスターファイルで、T FILE と GRAPH FILE の動作が異なります。(180608004)
SRVDA-2246	ibi™ WebFOCUS® Designer でビジュアライゼーションを作成し、日本語の文字を使用して名前を付けると、エラーメッセージが表示され、コンテンツが作成されません。(02187142)

キー	概要
SRVDA-2238	Python アダプタを使用してシノニムを作成する際、シノニム候補ファイルに日付フィールドが含まれている場合、エラーメッセージが表示されます。(02029601)
SRVDA-2221	ビジネスビューをはじめて作成した後に定義すると、フローに関連付けられているメタデータエディタによって、ビジネスビューに ALIAS=ABC、BELONGS_TO_SEGMENT=ABC が誤って挿入されます。(02029527)
SRVDA-2217	PostgreSQL アダプタで、データベースユーザ名は最大値の 48 文字を超えることはできません。(02027270)
SRVDM-887	テーブルが NULL 値を受け入れないよう構成されている場合に NULL 値を含むレコードを挿入しようとしても、Microsoft SQL Server アダプタは、Windows オペレーティングシステム上でエラーを表示しません。(02204636)
SRVDM-877	ibi™ Data Migrator で HP Vertica アダプタ以外のアダプタを使用してマスターファイルを作成し、フローを保存した場合、データフローによって、バルクロードのパラメータが自動的に修正されます。(02200151)
SRVDM-866	拡張セキュリティオプションをオンにしてデータ管理コンソールにログインすると、接続を確立できないことを示すメッセージが生成されます。(02192967)
SRVDM-855	ibi™ WebFOCUS® バージョン 7.7.09M からバージョン 9.0.1 にアップグレード後、ETL エージェントが機能しなくなります。(02194528)
SRVDM-851	ibi™ Data Migrator で、csv 出力ファイルの列見出しにブランクやスラッシュ (/) など、その他の文字が含まれている場合、ターゲットのシノニムフィールド名で無効として表示されます。(02192210)

キー	概要
SRVDM-840	ibi™ Data Migrator で、JSON ファイルでピリオド (.) として設定された値が NULL としてインポートされます。(02185896)
SRVDM-811	FPRINT 関数で、An フィールドの AnV フォーマットが受容されません。(02170093)
SRVDM-792	DBMS SQL フロー内で &&CM__REQUEST をテストすると、エラーメッセージが表示されます。(02165800)
SRVFOC-1492	FORMAT COMT で出力した CSV ファイルのタイトルの末尾から二重引用符 (") が欠落します。これは、タイトルの合計長が 4096 バイトの場合に発生します。(02213083)
SRVFOC-1485	データタイプを文字 (A1V) としてフィールドを定義すると、誤った出力が取得されます。ただし、VarChar (A1) データタイプで定義すると、結果は期待どおりになります。(02213231)
SRVFOC-1450	ACROSS 句および COMPUTE フィールドで TABPAGENO が参照されている場合、ibi™ FOCUS® がクラッシュします。(02210248)
SRVFOC-1432	xFocus ファイルのサイズが 32 ギガバイトを超える場合、ファイル処理に失敗します。(02201006)
SRVFOC-1396	DT_CURRENT_DATETIME 関数を使用して DATE フィールド (YYMD) に対して比較を実行する場合、製品のバージョンによって異なる結果が生成されます。
SRVFOC-1395	.fex ファイルで ON TABLE ROW-TOTAL 関数を使用し、出力フォーマットを .xlsx に設定した場合、Excel 出力の破損またはエージェントのクラッシュエラーが発生する可能性があります。(02178956)
SRVFOC-1364	HEXBYT 関数を含むコードを実行すると、SJIS (942) と Unicode (65001) で異なる結果が取得されます。(02182643)

キー	概要
SRVFOC-1351	バージョン 8.1.05 と 9.1.1 で FTOA 関数の差異を検査した結果、350 個以上の .fex ファイルでは FTOA 関数を使用し、そのうちのいくつかは NULL であることが判明しました。また、およそ 200 個の標準 .fex ファイルで、FTOA 関数は一時項目とデータベースカラムの両方で使用され、その一部は NULL の可能性があります。 さらに、行 30969 から 30973 のカラム S (Grant Date FV) を確認すると、バージョン 8.1 では 0.00 と表示されていた特定の値は、バージョン 9.1 ではブランクになっています。(02189381)
SRVFOC-1330	選択条件付きの REBUILD REORG DUMP コマンドを使用して ibi™ FOCUS® ファイル履歴の保守を行う場合、その結果ファイルを REBUILD REORG プロセスでロードすることができます。ただし、これらのファイルをバージョン 9.1 で使用して ibi™ FOCUS® データベースを再作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。(02184402)
SRVFOC-1317	インデックス付きの ONLINE で始まる ibi™ FOCUS® ファイルを作成すると、エラーが発生します。(02182252)
SRVFOC-1298	バージョン 8.2.07.28 から 9.0.4 にアップグレード後、J0 という JOIN 名のセグメント名が省略されている場合、フィールド名が認識されないことを示すエラーメッセージが表示されます。(02171975)
SRVFOC-1277	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.0.4 で、ファイル名が指定されていない場合、省略されたセグメント名が認識されません。(02208078、02190393、02202902)
SRVFOC-1247	合計計算に使用するデータが存在しない場合、ibi™ FOCUS® レポート中間脚注の TOT 接頭語に MISSING の代わりに 0 (ゼロ) が表示されます。(02166432)
SRVFOC-1239	日本語の日付時間リテラルを記述する場合、異なる構成要

キー	概要
	素間に区切り文字を使用しないと、リテラルの解析に失敗します。(02164025)
SRVFOC-1236	2 つの HOLD ファイル間で JOIN を実行しようすると、短縮パスに無関係なデータが表示されます。(02159228)
SRVFOC-1233	.foc ファイルに対してクエリを実行すると、COMPUTE フィールドのために、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server エージェントがクラッシュします。(02071542)
SRVFOC-1193	バージョン 9.1.0 のサーバコンソールで USE コマンドと MODIFY コマンドを使用してプロシジャコードを実行しようすると、エラーが発生します。(02155590)
SRVFOC-1181	データベースプロシジャを使用して 2 つのテーブルで LEFT JOIN を実行すると、テーブルのミッシング値が原因で失敗します。(02148999)
SRVRM-254	バージョン 9.2.2 にアップグレード後、リソースマネージャがアップグレードに失敗します。(02220312、02218730、02219101、02219989、02222572、02220088)
SRVRM-252	ibi™ WebFOCUS® Hub を使用して大規模なレポートを生成すると、Active HTML Report が破損します。(02208078、02190393、02202902)
SRVRM-238	Resource Analyzer で、Excel レポートのドリルダウンリンクが正しくありません。(02159753、02202902)
SRVWKSPC-3593	FOCUS ファイルの -REMOTE BEGIN/END 処理内部で DATE フィールドのフォーマットを変更する場合、リモートサーバでフォーマット変換エラーが発生します。(02231451)
SRVWKSPC-3591	foccache_maxage に到達しても、foccache フォルダが削除

キー	概要
	されません。(02220601、02235537)
SRVWKSPC-3577	ibi™ WebFOCUS® Reporting Serverで AD/LDAP がプライマリプロバイダとして構成されている場合、正しいグループまたはロールが適用されません。(02228031)
SRVWKSPC-3574	ERROROUT ON コマンドおよび TRACEON=SQLAGGR コマンドを実行すると、一般的なサーバエラーが発生します。(02226598)
SRVWKSPC-3563	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.06 から 9.2.1 へアップグレード後、権限が PRRUN に設定されている場合、ECHO コマンドでコード実行が表示されません。(02225280)
SRVWKSPC-3529	マスターファイル名に 2 バイト文字を使用して JOIN を実行する場合、2 番目のマスターファイルを選択後、2 番目のマスターファイルのフィールドがリストされません。(02157322)
SRVWKSPC-3493	アプリケーションのコンテンツをインデックスするために使用されるプロシジャの GOTO ステートメントでエラーが発生します。(02204766)
SRVWKSPC-3487	IMS が再起動されると、メインフレームの PDS 上で IMS リスナがクラッシュします。(02218731)
SRVWKSPC-3448	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server で、[ローデータのアップロード] オプションを使用して Excel ファイルをアップロードすると、警告メッセージが表示され、アップロードに失敗します。(02212537)
SRVWKSPC-3418	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.2.1 で、Solr を有効にした ibi™ WebFOCUS® Client で APP COPYF コマンドを実行する際に APP SET METALOCATION_SAME が OFF に設定されている場合、edaprint.log ファイルにエラーメッセージが生成されます。(02209845)

キー	概要
SRVWKSPC-3411	HTMTABLE リクエストで出力行がゼロ (0) のプロシジャを実行すると、アプリケーション下の同名の HTML ファイルが削除されます。(02203901)
SRVWKSPC-3401	homeapps/userid への APP MAP がユーザプロファイルに存在する場合、homeapps がアプリケーションディレクトリごとに繰り返し表示されます。
SRVWKSPC-3385	バージョン 9.2.1 にアップグレード後、connection_limit に達すると、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server エージェントが solrflids で応答を停止します。(02207947)
SRVWKSPC-3346	バージョン 9.0.0 以降、ユーザプロファイルで定義された APP MAP および APP PREPENDPATH ステートメントで、homeapps または myhome ディレクトリを使用する必要があります。
SRVWKSPC-3343	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server で、[カラムの選択] 設定が保存されません。(02199984)
SRVWKSPC-3305	デフォルトレポートで、SCHEDULER リスナで dfm_maxoutput = 1024 を設定してこの制限値を超えるレポートを実行した場合、レポートのステータスが「実行中」のままになります。(02188542)
SRVWKSPC-3301	ibi™ WebFOCUS® で、admin.cfg ファイルに多数のユーザグループが存在する場合、レポートまたはポータルの実行時のパフォーマンスに影響する可能性があります。(02168424)
SRVWKSPC-3296	EX CMASAP を使用すると、EDAPTH がクラッシュします。(02206197)
SRVWKSPC-3260	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server を z/OS 上で実行する場合、EDAPRINT の概要に不明なエラーメッセージが表示されます。(02193040)

キー	概要
SRVWKSPC-3256	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server で、無効またはオフラインの DSML により、フローを開いたり新しいフローを作成したりする際に、遅延が発生します。(02193728)
SRVWKSPC-3205	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server バージョン 9.2.0 がインストールされた Windows オペレーティングシステムで、同一の EDASHOME ディレクトリを共有する代替構成をインストールしようとする場合、9.2.0 インストールプログラムで、インストール済みの ibi™ WebFOCUS® Reporting Server バージョン 9.2.0 が認識されません。(02187296)
SRVWKSPC-3176	レポートを生成すると、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server エージェントがクラッシュします。(02182020)
SRVWKSPC-3122	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server ブラウザインターフェースで [ディスクへのアプリケーションマッピング] オプションを使用してフォルダをマッピングする場合、マッピングするフォルダに DBCS 文字が含まれていると、マッピングフォルダが無効 (SJIS) であることを示すメッセージが表示されます。(02180716)
SRVWKSPC-3121	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.1.1 で、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server アクセスコントロールテンプレートが Unicode サーバでは機能しません。(02175546)
SRVWKSPC-3109	[ディファードステータス] ダイアログボックスで [リフレッシュ] ボタンを繰り返しクリックすると、TCP/HTTP リスナのメモリが破損し、リスナがクラッシュします。(02167983)
SRVWKSPC-3108	dfm_dir ディレクトリに多数のファイルが保存されている場合、応答の遅延が増加します。(02173572)
SRVWKSPC-3090	Python 3.9 の場合、Python アダプタを RedHat 9 オペレーティングシステムで使用するエラーが発生します。(02193368)

キー	概要
SRVWKSPC-3082	CHAR_LENGTH 関数は、SJIS コード ページの文字列の長さをバイト単位で返します。(02170812)
SRVWKSPC-3063	ibi™ WebFOCUS® Designer で、リクエストが FOCCACHE ファイルに保存されているデータを使用する場合、リクエストを再び開くことができません。(02187595)
SRVWKSPC-3062	Amazon AWS S3 アダプタへの接続をテストすると、エラーメッセージが生成されます。(02167785、02161803)
SRVWKSPC-2978	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server ブラウザインターフェースで、[Reporting Server オンラインヘルプ] の [リリースノート] オプションを選択すると、インストールされている ibi™ WebFOCUS® のバージョンよりも古い PDF が表示され、サポートされているアダプタとサポートされているオペレーティングシステムのリストが表示されません。(02159862)
SRVWKSPC-2879	[ディスクへのアプリケーションマッピング] (APPMAPP) を使用して新しいアプリケーションディレクトリを作成した場合、EDASPROF.PRF に複数の二重引用符 (") が書き込まれます。(02156473)
SRVWKSPC-2015	z/OSで、EDAPRINT の概要に不明なエラーメッセージが表示され、サーバとメインフレームの接続が動作不能になります。(02056098、02194880)
SRVWKSPC-841	トレースオプションをオンにしてポータルを実行すると、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server エージェントがクラッシュします。(02029280)
VIZ-993	パレートグラフで、ツールヒントとデータラベルに誤った値が表示されます。(02224743)

キー	概要
VIZ-974	ビジュアライゼーションで、幅と高さを手動で設定することができません。(02219982)
VIZ-954	ガントチャート拡張を使用する一部のグラフで、不適切なエラーが発生または表示されます。(02201802)
VIZ-946	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster でレポートを実行した場合とEmail でスケジュールした場合で、異なるフォーマットのデータラベルが表示されます。(02182353)
VIZ-932	ibi™ WebFOCUS® グラフで自動リフレッシュ機能を有効にした場合、パフォーマンスの問題が発生し、長時間の経過後にクラッシュします。(02193147)
VIZ-914	一部の積み上げ棒グラフで、積み上げ合計ラベルが欠落するか、正しく表示されません。(02162582、02214280)
VIZ-912	ibi™ WebFOCUS® で、モバイルデバイスまたはエミュレータでマルチレイヤマップを表示すると、マーカーまたはポリゴンをタップしてもツールヒントが表示されません。(02178604)
VIZ-900	複合棒グラフ、折れ線グラフ、または面グラフを作成する場合、グラフの特定の領域をポイントしても、ライザのドリルダウンが使用できません。(02176829)
VIZ-885	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で作成したメータグラフに、プロシージャで指定されていない余分なセグメントが含まれます。(02166144)
VIZ-839	日付フィールドにミッシング (NULL) データが含まれている場合、ダイグラフ拡張が正しくロードされません。(02148628)
VIZ-835	時間軸またはログスケールライングラフに missingDataMode プロパティを設定すると、エラーが発生します。(02145158)

キー	概要
VIZ-831	iPad で棒グラフを実行すると、長いデータラベルが重なる可能性があります。(02142396)
VIZ-713	円グラフで、M (百万) 記号が値とともに表示されません。(02064548)
VIZ-200	データグリッドグラフで、条件付きスタイル設定が動作しません。(02029073、02030790、02225220)

非推奨機能

次の機能は非推奨となっており、将来のリリースで削除される可能性があります。



注意: 非推奨になった機能については、関連する場合、便利な代替機能が記載されています。



重要: 非推奨の機能は、将来のリリースで削除される可能性があるため、使用を中止する必要があります。非推奨の機能に依存しないようにするには、提案された代替機能について理解しておく必要があります。

キー	概要	非推奨
IA-12168	ibi™ WebFOCUS® Quick Data Excel アドインでは、 クエリの編集 および 接続設定の編集 オプションが無効になっています。	9.3.0
RC-2476	Microsoft 基本認証 SMTP が削除され、OAuth に置き換えられました。	9.3.0
SRVMED-1636	ISPF からの USS/ZFS インストールのサポートパネルは非推奨となりました。	9.3.0

削除された機能

ibi™ WebFOCUS® の最新のメジャーリリース以降、次の機能が削除されました。

キー	概要	削除されたバージョン
RC-4104	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster では、FLEX - Active Report 形式 (*.swf) がサポートされなくなりました。	9.3.4
RC-4077	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster では、PDF Analytic Document (APDF) 形式がサポートされなくなりました。	9.3.4
SRVWKSPC-3832	ibi™ WebFOCUS® Server のインストール中に、次のオプションは使用できなくなりました。 • ISPF パネルから USS インストールを実行する。 • WebFOCUS Server の更新インストールを実行する。	9.3.2

削除されたアダプタ

ibi™ WebFOCUS® の最新のメジャーリリース以降、次のアダプタが削除されました。また、ibi™ WebFOCUS® Adapter Administration guide から、これらのアダプタとそのリファレンスが削除されました。

アダプタ	削除されたバージョン
Python®	9.3.4
Interplex DMS 1100	9.3.0
Oracle E-Business Suite (Oracle Applications)	

アダプタ	削除されたバージョン
Oracle TimesTen	
Siebel®	
SnappyData®	

既知の問題

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® で次の問題が発生します。

キー	概要と回避策
IBIAS-8717	概要: ibi™ WebFOCUS® App Studio で [オンラインヘルプ] をクリックすると、無効なヘルプページが開く場合があります。 回避策: ibi™ WebFOCUS® App Studio ドキュメント に移動し、[すべてのドキュメントをダウンロード] ボタンをクリックします。.ZIP ファイルをローカルマシンに保存します。ダウンロードした .ZIP ファイルを解凍し、アクセスできる場所に保存します。
IBIINST-2943	概要: ibi™ WebFOCUS® の以前のリリースからリリース 9.3.1 への統合インストールのアップグレード時に、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server を停止しても、すべての ibi™ WebFOCUS® Reporting Server プロセスが終了しない場合があります。 回避策: ibi™ WebFOCUS® Reporting Server を停止し、アップグレードする前に、すべての ibi™ WebFOCUS® Reporting Server プロセスが終了していることを確認する必要があります。
IBIUX-2228	概要: バージョン 9.3.0 では、レスポンスバートプロンプトテンプレートと、このテンプレートから作成したカスタムオートプロンプトテンプレートで、表示の問題が発生する可能性があります。 回避策: 一時的な解決策として、WebFOCUS 管理コンソールの [パラメータプロンプト] ページから有効にできる、デザイナーのオートプロンプトテンプレートを利用します。

リリース情報

次のトピックでは、ibi™ WebFOCUS® に関連する情報を提供します。

- [ブラウザ情報](#)
- [ibi WebFOCUS のアクセシビリティ準拠](#)
- [ibi WebFOCUS Client でサポートされるオペレーティングシステム](#)
- [ibi WebFOCUS での Java Platform、Standard Edition \(Java SE\) のサポート](#)
- [サポート対象の Web サーバおよび Application Server](#)
- [ibi WebFOCUS Client リポジトリでサポート対象の RDBMS およびドライバ](#)
- [ローカリゼーション \(NLV\) および NLS の制限事項](#)
- [ibi WebFOCUS レポート および Microsoft Office のサポート](#)

ブラウザ情報

ここでは、ibi™ WebFOCUS® の各バージョンで使用可能な Web ブラウザについて説明します。

- 弊社では、ブラウザベンダーのサポートポリシーを評価し、最新バージョンが使用可能になり次第、随時新しいブラウザバージョンを動作保証します。
- 以下のブラウザベンダー使用要件を参照して、最新の Web ベース機能を提供する Web 標準がサポートされ、セキュリティの保証されたブラウザを使用することをお勧めします。

サポート対象の Web ブラウザ

バージョン	Google Chrome	Firefox	Microsoft® Edge® (ibi™ WebFOCUS® のみ)
9.3.4	バージョン 135	バージョン 137	バージョン 135
9.3.3	バージョン	バージョン 134	バージョン 131

バージョン	Google Chrome	Firefox	Microsoft® Edge® (ibi™ WebFOCUS® のみ)
	131		
9.3.2	バージョン 130	バージョン 132	バージョン 130
9.3.1	バージョン 126	バージョン 127	バージョン 126
9.3.0	バージョン 122	バージョン 123	バージョン 122

- バージョン 8.2.07.27.0 以降、ibi™ WebFOCUS® の新しいリリースでは、Microsoft Internet Explorer 11 が動作保証済みブラウザとしてサポートされません。
- Internet Explorer 互換モードはサポートされません。
- Firefox ブラウザバージョンサポートについての詳細は、Mozilla から公開されている次の Web サイトを参照してください。https://wiki.mozilla.org/Release_Management/ESR_Landing_Process
- ibi™ WebFOCUS® で作成した単純な HTML レポートは、任意のブラウザで表示することができます。
- 一部のブラウザバージョンで使用可能な組み込み PDF ビューアを使用する際に、ドリルダウンリンクが機能しません。ブラウザの構成情報を確認し、関連するコンテンツタイプのアプリケーションオプション設定を変更することで、ブラウザで自動的に Adobe Reader が起動するよう調整します。
- Acrobat Reader DC は動作保証されています。Adobe XI および Above X はサポートされています。
- 特定の状況下では、Microsoft Internet Explorer でページを表示する際に、Web ページで指定されたモードと異なるドキュメントモードでページが強制的に表示される場合があります。詳細は、「[Internet Explorer Browser Document Compatibility](#)」を参照してください。
- Microsoft® Windows® x64 マシン上での Microsoft® Internet Explorer® (32-bit) の予期される動作については、Microsoft® TechNet の記事「[Windows 10 X64 で IE 32bit を実行する](#)」を参照してください。
- クライアントのブラウザに基づいてイメージ埋め込み機能を使用することにより、HTML レポー

ト、DHTML レポート、DHTML 複合レポートでのイメージおよびグラフの表示がサポートされます。Microsoft Internet Explorer ブラウザで生成される出力、またはブラウザが不明な状況 (例、ibi™ WebFOCUS® ReportCaster から配信されるレポート) では、Web アーカイブファイル (.mnt) を作成することでイメージが組み込まれます。その他すべてのブラウザでは、イメージは、生成される .html ファイル内で base64 エンコードされます。

- 特定のブラウザでは、独自の最大バイト数をツールヒントのテキストに適用するため、長いツールヒントは末尾が切り取られて表示される場合があります。たとえば、Microsoft Internet Explorer では、この最大バイト数は 512 バイトですが、Google Chrome では 1024 バイトです。

サポート対象のモバイルブラウザ

ibi™ WebFOCUS® バージョン	iOS バージョン	ブラウザ	ibi™ WebFOCUS® Mobile App バージョン
バージョン 9.1.0 以降	iOS バージョン 15	Safari	バージョン 4.0.4
バージョン 9.1.0 以降	iOS バージョン 15	Chrome	バージョン 4.0.4
バージョン 9.1.0 以降	iOS バージョン 14	Safari	バージョン 4.0.4
バージョン 9.1.0 以降	iOS バージョン 14	Chrome	バージョン 4.0.4
バージョン 9.1.0 以降	Android バージョ ン 11	Chrome	バージョン 4.0.4
バージョン 9.1.0 以降	Android バージョ ン 10	Chrome	バージョン 4.0.4

ibi WebFOCUS のアクセシビリティ準拠

ibi™ は、障害あるユーザを含むすべてのユーザにアクセス可能で使いやすく、質の高い製品とサービスを提供します。

アクセシビリティのサポート基準

ibi™ は、次の基準に基づき ibi™ WebFOCUS® のアクセシビリティを確保します。

弊社のアジャイル開発プロセスは、[WCAG 2.1](#) レベル AA、[改定セクション 508](#)、および [欧州規格 EN 301 549](#) の標準およびガイドラインに沿ったアクセシビリティ評価を、設計、開発、テストのすべての段階で取り入れています。コーディングは、HTML、CSS、WAI-ARIA、JavaScript で W3C 標準に準拠しています。

ibi™ は、アクセシビリティ標準およびガイドラインに準拠したアプリケーションの作成が可能なソフトウェアツールを提供することで、顧客のアクセシビリティ目標達成に貢献します。各アプリケーションの実際のアクセシビリティ準拠は、ibi™ ツールの適切な使用、および弊社ソフトウェアと相互運用する他社製ハードウェアおよびソフトウェアのアクセシビリティ準拠によって異なります。

サービスについて、ibi™ は、顧客と協調し、サービス契約に関するアクセシビリティ要件に取り組んでいます。ibi™ は、必要なアクセシビリティ標準およびガイドラインに準拠する適切な作業指示書で、顧客に対してアクセシビリティ要件を求めます。ibi™ は、顧客の要件に特化した COTS 製品のアクセシビリティ機能を提示し、提示された機能を使用して開発を進める前に顧客の承認を取得します。

適合ステータス

ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.1.0 以降は、次のアクセシビリティ標準およびガイドラインに部分的に適合しています。部分的適合とは、コンテンツの一部がアクセシビリティ標準に完全に適合していないことを示します。追加情報については、[アクセシビリティ機能の範囲](#)、[アクセシビリティ機能の範囲](#)、および [ibi™ WebFOCUS® 8207 アクセシビリティ適合レポート \(VPAT 2.4 INT\)](#) を参照してください。

標準およびガイドライン	レポート内に記載
Web Content Accessibility Guidelines 2.0	レベル A レベル AA
Web Content Accessibility Guidelines 2.1	レベル A レベル AA

標準およびガイドライン

レポート
内に記載

Revised Section 508 standards published 01/18/2017 and corrected
01/22/2018

EN 301 549 Accessibility requirements suitable for publish procurement of ICT
products and services in Europe - V3.1.1.(2019-11)

アクセシビリティ機能の範囲

ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.07.26 以降では、Designer ページおよび ibi™ WebFOCUS® アクセシブルレポートを含む、アクセシビリティ機能を備えた ibi™ WebFOCUS® の2 レベルトップナビゲーション V5 ポータルを作成、公開するためのツールとガイダンスを設計者に提供し、エンドユーザーによる独自の adhoc クエリおよびレポート作成の実行を可能にします。アクセシビリティ機能には、コンテンツ作成 (開発) および管理 インターフェースは含まれません。

アクセシビリティ機能を備えた ibi™ WebFOCUS® レポートは、次のフォーマットがあります。

- Analytic Document (Active テクノロジ) - AHTML
- Excel - XLSX
- PDF - ibi™ WebFOCUS® PDF レポートのアクセシビリティサポートについては、「[ibi™ WebFOCUS® 言語でレポートを作成する](#)」PDF のトピックを参照してください。
- PowerPoint - PPTX
- HTML - 「[Technical Memo 4505](#) - ibi™ WebFOCUS® HTML レポートのアクセシビリティサポート」を参照

アクセシビリティ機能を備えた ibi™ WebFOCUS® レポートは、Web ページまたはアプリケーションから配信、実行できます。Web ページまたはアプリケーションのアクセシビリティ準拠については、設計者が責任を負います。

ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.07.12 以前の 8.2.07 リリースでは、次の ibi™ WebFOCUS® アクセシビリティ準拠レポートフォーマットがサポートされます。

- PDF - ibi™ WebFOCUS® PDF レポートのアクセシビリティサポートについては、「[ibi™ WebFOCUS® 言語でレポートを作成する](#)」PDF のトピックを参照してください。
- HTML - 「[Technical Memo 4505](#) - ibi™ WebFOCUS® HTML レポートのアクセシビリティサポート」を参照

ポート」を参照

ブラウザ互換性および支援テクノロジー

テストは、さまざまなオペレーティングシステム、ブラウザ、テスト自動化ツール、スクリーンリーダーを使用して実行されました (例、Windows 10 オペレーティングシステム、Google Chrome ブラウザ、NVDA または JAWS 2020 スクリーンリーダー)。

Google Chrome、Firefox、Microsoft Edge、Microsoft Internet Explorer ブラウザについては、ユーザのカスタマイズ、支援テクノロジーおよび他社製拡張機能との統合によりサポートレベルが異なります。

JAWS ブラウザ要件についての詳細は、[Freedom Scientific](#) の Web サイトを参照してください。

テクノロジー仕様

ibi™ WebFOCUS® のアクセシビリティは、次の技術に依存し、Web ブラウザおよび支援テクノロジー、またはユーザの PC にインストールされたプラグインとの特定の組み合わせにより機能します。

- HTML
- WAI-ARIA
- CSS
- JavaScript

上記のテクノロジーは、適用されるアクセシビリティ標準に準拠するために使用されます。

制限事項

アクセシビリティ機能を備えたibi™ WebFOCUS®のアクセシビリティを確保するため万全を期していますが、一部に制限事項があることも考えられます。アクセシビリティ機能の使用で問題が発生した場合は、[アクセシビリティ機能の範囲](#)を参照するか、技術サポートに問い合わせ、追加機能のアクセシビリティ適合についてリクエストしてください。

既知の制限事項

- **アクセシビリティ機能** 機能の範囲は、[適合ステータス](#)に記載されているとおりです。
- **非テキストコンテンツ、代替テキスト** ibi™ WebFOCUS® 8.2.07 以降では、コンテンツ作成者に代替テキストを追加する方法を提供し、このコンテンツはスクリーンリーダーで読み取られます。ただし、説明的代替テキストの提供は、コンテンツ作成者に委ねられます。

- **感覚的情報** (ビジュアライゼーション/グラフ) アクセシビリティのベストプラクティス準拠は、コンテンツ作成者に委ねられますが、ibi™ WebFOCUS® 8.2.07 以降では、今後のリリースで、ビジュアライゼーションおよびグラフでの感覚的情報の伝達について、強化された代替方法を提供します。
- **リフロー** データテーブルは、テーブルとして動作し、リフローされません。
- **見出しおよびラベル** ibi™ WebFOCUS® 8.2.07 以降では、適切な見出しおよびラベルを追加する方法をコンテンツ作成者に提供し、このコンテンツは、スクリーンリーダーで読み取られます。ただし、ベストプラクティスの導入によるアクセシビリティの維持は、コンテンツ作成者に委ねられます。
- **一部の言語** 言語は、メタレベルでドキュメントに適用されます。
- **機能的遂行基準** (言語障害、認知障害、学習障害) ibi™ WebFOCUS® 8.2.07 以降のデータテーブルは複雑であり、拡張機能を提供します。対象ユーザの機能上の要件を特定し、ibi™ WebFOCUS® レポートプロシジャ作成時にこれらの考慮事項を適用することは、コンテンツ作成者の責任です。
- **利用可能な操作の全般 (情報) リスト** V5 ポータル、Designer ページ、Analytic Document (AHTML) では、利用可能な操作は「Ctrl+Shift+F10」を押すとアクセスできます。
- **変更通知** オンラインヘルプの今後のリリースで改善される予定です。
- **製品マニュアル** [オンラインヘルプ] セクションのアクセシビリティは、今後のリリースで改善され、利用可能になります。現在のバージョンでは、次のような問題が発生する可能性があります。
 - 拡大表示での判読性の低下
 - 左側ウィンドウから右側ウィンドウへの移動困難
 - 印刷メニューのポップアップが、Esc キーの使用またはポインタの移動でも閉じることができない

ibi WebFOCUS Client でサポートされるオペレーティングシステム

下表は、ibi™ WebFOCUS® Client でサポートされるオペレーティングシステムを示しています。

ベンダー (プロセッサ/ アーキテクチャ)	オペレーティングシステムバージョン
Microsoft Windows 64 ビット	Windows Server 2022、2019
	Oracle Java 11 をマシンにインストールする必要があります。詳細は、製品のインストールマニュアルを参照してください。
	Windows Server 2016
	Windows 11、10 (開発環境のみに限定)
IBM® i	V7R3、V7R4
IBM (pSeries 64)	AIX 7.2、AIX 7.1
IBM® (zSeries)	Enterprise Linux Kernel-3.0.101-glibc-2.11 以降
Oracle (Sparc 64-bit)	Oracle Solaris 11
Oracle (x86)	Oracle Solaris 11
Red Hat (x86_64)	Red Hat Enterprise Linux 9.1:5.14.0-162.6.1.el9_1.x86_64 以降 - glibc- 2.34-40.el9_1.1.i686
	Red Hat Enterprise Linux 8.6:4.18.0-305.el8.x86_64 以降 - glibc- 2.28-189.5.el8_6.i686
	Red Hat Enterprise Linux 7:3.10.0-123.el7.x86_64 以降 - glibc-2.17-36.el7.i686
	Red Hat Enterprise Linux 7:3.10.0-123.el7.x86_64 以降 - glibc-2.17-36.el7.i686

ベンダー (プロセッサ/ アーキテクチャ)	オペレーティングシステムバージョン
Red Hat (IBM Power Systems)	Red Hat Enterprise Linux 7:3.10.0-123.el7.x86_64 以降 - glibc-2.17-36.el7.i686
Hewlett Packard (Itanium IA64)	HP-UX 11i (11.31)

ibi WebFOCUS での Java Platform、 Standard Edition (Java SE) のサポート

ここでは、ibi™ WebFOCUS® および ibi™ WebFOCUS® ReportCaster Web アプリケーションの展開先としてサポートされる各種 Java SE バージョンの ibi™ WebFOCUS® リリース情報について説明します。また、Java ソフトウェアをインストールまたはアップグレードする前に、Web アプリケーションサーバーバージョンの Java バージョン要件を確認することも重要です。

注意事項

- Java SE の同一バージョンレベルでのメンテナンスアップデートもサポートされます。
- 新しい JDK バージョンと ibi™ WebFOCUS® の以前のバージョンとの使用はサポートされます。ただし、一部の問題を解決するために、新しいバージョンの ibi™ WebFOCUS® または JDK サービスパックへのアップグレードが必要になる場合があります。
- 新しい Java SE メジャーリリースのサポートには動作保証が必要なため、下表で明記されていない限り、現時点ではサポートされません。
- 「動作保証済み」と記述されている場合、指定されたリリース QA (品質保証) の動作保証プロセスで、指定された Java バージョンがテストされたことを示します。

動作保証済みまたはサポート対象の Java バージョンで問題が発生した場合は、技術サポートに連絡してください。

ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.3.0 以降では、ibi™ WebFOCUS® および ibi™ WebFOCUS® ReportCaster Web アプリケーションの展開先 Application Server に適用される JVM バージョンの最低要件は、JVM バージョン 11 です。

Java SE バージョンの動作保証ステータス このバージョンでは、Oracle および OpenJDK の Java 11 バージョンが動作保証されています。

サポート対象の Web サーバおよび Application Server

ベンダーの Web サーバおよび Application Server	バージョン
Apache Software Foundation (Apache Tomcat)	9
Apache Software Foundation (Apache HTTP)	2.4 2.2
Microsoft (IIS)	10 以降
Oracle WebLogic	14c (14.1.1.0.0)

ibi WebFOCUS Client リポジトリでサポート対象の RDBMS およびドライバ

ベンダー (RDBMS)	バージョン	JDBC ドライバ
Apache Software Foundation ([Apache Derby])	10.9.1.0 10.15.2.0	derbyclient.jar derbytools.jar
Microsoft MS SQL Server	2022	Microsoft JDBC Driver 12.2 for SQL Server mssql-jdbc-12.2.0.jre8.jar mssql-jdbc-12.2.0.jre11.jar Microsoft JDBC Driver 11.2 for SQL Server mssql-jdbc-11.2.0.jre8.jar

ベンダー (RDBMS)	バージョン	JDBC ドライバ
		mssql-jdbc-11.2.0.jre11.jar
		mssql-jdbc-11.2.0.jre17.jar
		mssql-jdbc-11.2.0.jre18.jar
		Microsoft JDBC Driver 10.2 for SQL Server
		mssql-jdbc-10.2.0.jre8.jar
		mssql-jdbc-10.2.0.jre11.jar
		mssql-jdbc-10.2.0.jre17.jar
		Microsoft JDBC Driver 9.4 for SQL Server
		mssql-jdbc-9.4.1.jre8.jar
		mssql-jdbc-9.4.1.jre11.jar
		mssql-jdbc-9.4.1.jre16.jar
		Microsoft JDBC Driver 9.2 for SQL Server
		mssql-jdbc-9.2.1.jre8.jar
		mssql-jdbc-9.2.1.jre11.jar
		mssql-jdbc-9.2.1.jre15.jar
		Microsoft JDBC Driver 10.2 for SQL Server
		mssql-jdbc-10.2.0.jre8.jar
		mssql-jdbc-10.2.0.jre11.jar
		mssql-jdbc-10.2.0.jre17.jar
		Microsoft JDBC Driver 9.4 for SQL Server
		mssql-jdbc-9.4.1.jre8.jar
		mssql-jdbc-9.4.1.jre11.jar

ベンダー (RDBMS)	バージョン	JDBC ドライバ
		mssql-jdbc-9.4.1.jre16.jar Microsoft JDBC Driver 9.2 for SQL Server mssql-jdbc-9.2.1.jre8.jar mssql-jdbc-9.2.1.jre11.jar mssql-jdbc-9.2.1.jre15.jar
Microsoft	2019	Microsoft JDBC Driver 8.4 for SQL Server mssql-jdbc-8.4.1.jre14.jar mssql-jdbc-8.4.1.jre11.jar mssql-jdbc-8.4.1.jre8.jar Microsoft JDBC Drive 8.2 for SQL Server mssql-jdbc-8.2.2.jre13.jar mssql-jdbc-8.2.2.jre11.jar mssql-jdbc-8.2.2.jre8.jar Microsoft JDBC Drive 7.4 for SQL Server mssql-jdbc-7.4.1.jre12.jar mssql-jdbc-7.4.1.jre11.jar mssql-jdbc-7.4.1.jre8.jar
Microsoft	2017	mssql-jdbc-6.2.2.jre8.jar ダウンロードは、「 https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=55539 」から可能です。
Microsoft	2016	mssql-jdbc-6.2.2.jre8.jar

ベンダー (RDBMS)	バージョン	JDBC ドライバ
MS SQL Server	2014	ダウンロードは、「 https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=55539 」から可能です。
	2012	
	2008	sqljdbc42.jar ダウンロードは、「 https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=54671 」から可能です。
IBM (Db2)	11.5	db2jcc4.jar
	10.5	
	9.7 FP4	
Oracle (Database)	21c	ojdbc11.jar
	19c	ojdbc8.jar
	18c	
	12c Release 2	
	12c Release 1	ojdbc7.jar
Oracle (MySql)	11g Release 2	ojdbc6.jar
	8.0.x	mysql-connector-java-8.0.29.jar
Postgresql	16.1	postgresql-42.7.0.jar
	15.2	postgresql-42.5.0.jar
	13.6	

ローカリゼーション (NLV) および NLS の制限事項

ibi™ WebFOCUS® および App Studio では、一部の選別された言語で国際言語サポートおよびローカライズ版サポートが提供されています。その他の言語に関しては、技術サポートに新機能リクエストを送信することができます。

国際言語サポート (NLS)

国際言語サポート (NLS) は、さまざまな国際言語の文字セットを表すコードページで格納されたデータの読み取りと変換に必要です。ibi™ 独自の NLS API コードページアーキテクチャにより、アプリケーションクライアントとサーバコンポーネント間でデータがコード変換され、ソート処理、大文字小文字の変換、日付、通貨、数値の変換のすべてが管理されます。

ローカライズ版のサポート (NLV)

ローカライズ版は、ユーザインターフェース (例、メニュー、ユーティリティ) が特定の言語で表示されるソフトウェア製品です。ボタンやメニューの選択項目は、常に製品内の同一位置に表示され、ラベルのテキストのみが異なります。そのため、特定の言語で ibi™ 製品を使い慣れたユーザは、その製品を別の言語でも簡単に操作することができます。

ローカライズ版では、完全な国際言語サポート (NLS) 機能が提供されます。サポートされている任意の言語のデータにアクセスし、すべての国際言語文字を処理、表示、印刷することができます。

ibi WebFOCUS および WebFOCUS Reporting Server

ibi™ WebFOCUS® および ibi™ WebFOCUS® Reporting Server のバージョンでは、データ処理用に次のコードページをサポートしています。

ASCII プラットフォーム

137 - 英語 (米国)/西ヨーロッパ	923 - Latin 9 (ISO 8859-15)
----------------------	-----------------------------

パ (Latin 1)	
437 - 英語 (米国)	942 - 日本語 (shift-JIS)
813 - ギリシャ語 (ISO 8859-7)	946 - 中国語 (簡体字)
850 - 西ヨーロッパ言語	949 - 韓国語
852 - 中央ヨーロッパ言語	1089 - アラビア語 (ISO 8859-6)
857 - トルコ語	1250 - 中央ヨーロッパ言語 (Latin 2)
860 - ポルトガル語	1251 - キリル文字 (Windows)
862 - ヘブライ語	1252 - Windows (Latin 1)
863 - フランス語 (カナダ)	1253 - ギリシャ語 (Windows)
865 - 北欧ゲルマン系言語	1254 - トルコ語 (Windows)
866 - キリル文字 II	1255 - ヘブライ語 (Windows)
869 - ギリシャ語	1256 - アラビア語 (Windows)
912 - 中央ヨーロッパ言語 (ISO 8859-2)	1257 - バルト沿岸諸国言語 (Windows)
915 - キリル文字 (ISO 8859-5)	10942 - 日本語 (EUC)
916 - ヘブライ語 (ISO 8859-8)	10948 - 中国語 (繁体字)
920 - トルコ語 (ISO 8859-9)	65001 - Unicode (UTF-8)
921 - バルト語 (ISO 8859-13)	

EBCDIC プラットフォーム ([IBM z/OS] および [IBM i])

37 - [IBM EBCDIC United States]	500 - [IBM EBCDIC International European]
273 - [IBM EBCDIC Germany F.R./Austria]	870 - [IBM EBCDIC Multilingual (Latin 2, Eastern Europe)]
277 - [IBM EBCDIC Denmark、Norway]	871 - [IBM EBCDIC Iceland]
278 - [IBM EBCDIC Finland、Sweden]	875 - [IBM EBCDIC Greece]
280 - [IBM EBCDIC Italy]	1025 - [IBM EBCDIC Cyrillic、Multilingual]
284 - [IBM EBCDIC Spain/Latin America]	1026 - [IBM EBCDIC Turkish]
285 - [IBM EBCDIC United Kingdom]	1047 - [IBM EBCDIC Open Systems (Latin 1)]
297 - [IBM EBCDIC France]	1112 - [IBM EBCDIC Baltic Multilanguage]
424 - [IBM EBCDIC Israel (Hebrew)]	65002 - [Unicode (UTF-EBCDIC)]

言語

LANGUAGE パラメータは、国際言語サポート (NLS) の環境を指定します。サーバのエラーメッセージの言語を設定し、マスターファイルに別の言語の TITLE 属性が含まれている場合は、レポートタイトルの言語の設定にも使用できます。詳細については、*ibi™ WebFOCUS®* メタデータリファレンスのテクニカルコンテンツを参照してください。

ibi™ WebFOCUS®/ibi™ WebFOCUS® Reporting Server コンソール、ibi™ Data Migrator およびデータ管理コンソールでは、次の言語がサポートされます。

(* ローカライズ版)

- 英語 (米国)

- 英語 (オーストラリア)*
- アラビア語
- ポルトガル語 (ブラジル)
- 英語 (カナダ)*
- クロアチア語
- チェコ語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- エストニア語
- フィンランド語
- フランス語*
- ドイツ語*
- ギリシャ語
- ヘブライ語
- ハンガリー語
- イタリア語
- 日本語*
- 韓国語
- ラトビア語
- リトアニア語
- ノルウェー語
- ポーランド語
- ポルトガル語
- ルーマニア語
- ロシア語
- 中国語 (簡体字)*
- スロバキア語

- スペイン語*
- スウェーデン語
- 中国語 (繁体字)*
- タイ語
- トルコ語
- 英語 (イギリス)

ibi WebFOCUS Client および WebFOCUS® ReportCaster

ibi™ WebFOCUS® Client および ibi™ WebFOCUS® ReportCaster では、次のローカライズ版がサポートされます。

次の言語は、翻訳および動作保証プロセスが完了しています。

グループ 1 (完全翻訳)

- 英語 (オーストラリア、カナダ、英国、米国)
- フランス語 (カナダおよび標準)
- ドイツ語
- スペイン語
- 韓国語

グループ 2 (部分翻訳)

限られた範囲のみ、ibi™ エージェントおよびパートナーによって翻訳とテストが実施されています。翻訳が提供されていない文字列は英語で表示されます。

- 中国語 (簡体字)
- ポルトガル語 (ブラジル)
- イタリア語
- 日本語

グループ 3 (評価中)

限られた範囲のみ、ibi™ エージェント およびパートナーによってデモンストレーション目的で翻訳とテストが実施されています。翻訳が提供されていない文字列は英語で表示されます。有効にするには、カスタマーサポートにお問い合わせください。

ibi WebFOCUS レポート および Microsoft Office のサポート

ここでは、Microsoft Office 製品で出力を生成する ibi™ WebFOCUS® レポートフォーマットのサポートについて説明します。また、ibi™ WebFOCUS® でセキュリティ保護されたプロシジャに動的ドリルダウンリクエストを実行するハイパーリンクの注意事項についても説明します。

ibi WebFOCUS レポートフォーマット および Microsoft 製品との関連付け

下表は、Microsoft Excel および PowerPoint のレポートを作成する ibi™ WebFOCUS® のフォーマット、Microsoft Office のアプリケーション関連付け情報、および対応する Windows オペレーティングシステムのバージョンを示しています。

ibi™ WebFOCUS® フォーマット	Microsoft Office 製品	Windows オペレーティングシステム
XLSX	Microsoft Office 365、Microsoft Office 2021、2016、2019	Windows 10
		Windows 8
	Microsoft Office 2016、2013、2010、2007	Windows 7
	Microsoft Excel Viewer 2007	
PPTX	Microsoft Office 365、Microsoft Office 2021、2016、2019	Windows 10
		Windows 8
	Microsoft Office 2016、2013、2010、2007	Windows 7

ibi™ WebFOCUS® フォーマット	Microsoft Office 製品	Windows オペレーティングシステム
	Microsoft PowerPoint Viewer 2010	
EXL2K (機能固定リソース)	Microsoft Office 2003、2000	Windows XP Windows 2000
PPT (機能固定リソース)	Microsoft Office 2003、2000	Windows XP Windows 2000

Windows オペレーティングシステムで利用できる Microsoft Office のバージョンについての詳細は、「[Get Windows 10 App](#)」を参照してください。各 PC に対応する互換性レポートおよび PC、オンボードデバイス、アプリケーションの統合互換表示が参照できます。

ibi WebFOCUS の EXL2K、PPT フォーマット および Microsoft Office 製品のサポート

ファイルタイプおよび Microsoft が導入したコンテンツセキュリティポリシーにより、ibi™ WebFOCUS® の EXL2K、PPT フォーマットは Microsoft Office 2013 以降サポートされません。ibi™ WebFOCUS® の XLSX、PPTX フォーマットは、Microsoft Excel XLSX、Microsoft PowerPoint PPTX のファイルタイプおよび Office 2013 以降のコンテンツセキュリティポリシーを完全にサポートします。

Microsoft Office 2003 のサポート

「[Get Windows 10 App](#)」を参照してください。各 PC に対応する互換性レポートおよび PC、オンボードデバイス、アプリケーションの統合互換表示が参照できます。ibi™ WebFOCUS® 製品は、Microsoft Office 2003 のアプリケーションでも起動および使用が可能です。Microsoft では継続してサポートやアップデートに対応できるように Office の新しいバージョンへのアップグレードを推奨しています。Windows XP で Office 2003 を使用する場合は、Microsoft Office 2003 および Windows XP SP3 のサポート終了についての詳細を、「[Support for Windows XP ended](#)」で確認してください。

新しいバージョンの Microsoft Excel および PowerPoint で作成したドキュメント、ブック、プレゼンテーションの開始 (ファイルを開く)、編集、保存についての詳細は、「[Microsoft Office Compatibility Pack for Word, Excel, and PowerPoint File Formats](#)」を参照してください。

ibi WebFOCUS EXL2K および PPT フォーマットと Microsoft Office Viewer 製品 のサポート

Microsoft Excel Viewer および PowerPoint Viewer は読み取り専用の製品です。これらの製品では、Microsoft Excel および PowerPoint のデータの表示と印刷のみが可能です。ibi™ WebFOCUS® の EXL2K、PPT フォーマットのレポートは、バージョンにかかわらず Microsoft Excel Viewer および Microsoft PowerPoint Viewer ではサポートされません。ibi™ WebFOCUS® の XLSX、PPTX フォーマットのレポートは、それぞれ Microsoft Excel Viewer と Microsoft PowerPoint Viewer でサポートされており、表示が可能です。

Microsoft は、古いバージョンの Microsoft Excel および Microsoft PowerPoint Viewer のサポート終了を発表しています。サポートされる Microsoft Office Viewer 製品のバージョンについての詳細は、「[Supported versions of the Office viewers](#)」を参照してください。Microsoft Office Viewer は、「[Microsoft Download Center](#)」からダウンロードすることができます。

Microsoft Office 365 のサポート

Microsoft Office 365 は、Microsoft Excel および PowerPoint 2013 のローカルインストール機能を提供します。Office 2010 に対応し、Office 2007 の一部機能にも対応しています。Microsoft Office 365 では、Office Online を使用してほとんどのデバイスからアクセス可能なクラウドに Microsoft Excel および PowerPoint のファイルをアップロードすることもできます。Microsoft Office 365 についての詳細は、「[Office 365 for business FAQ](#)」を参照してください。

Microsoft Office 365 を使用して、ibi™ WebFOCUS® の XLSX および PPTX フォーマットのレポートにアクセスすることができます。最初に、HOLD ファイルとして XLSX および PPTX レポートをローカルに作成するか、PCHOLD コマンドを使用してレポートを画面に表示し、ローカルディレクトリに保存します。保存したファイルは、OneDrive for Business にアップロード、保存されます。クラウドにアップロード済みのファイルには、Office Online を使用してアクセスすることができます。

ibi™ WebFOCUS® レポートの保存については、[推奨読書](#)に記載されている「ibi™ WebFOCUS® 言語でレポートを作成する」マニュアルを参照してください。

Excel Online、PowerPoint Online および Microsoft Office 2013 で使用可能な機能の違いについての詳細は、「[Office Online Service Description](#)」を参照してください。

Office Online および OneDrive for Business の使用についての詳細は、「[Using Office Online in OneDrive](#)」を参照してください。

ハイパーリンクを使用してレポートを実行する際の注意事項

ibi™ WebFOCUS® レポートでハイパーリンクを選択し、ドリルダウンリクエストから ibi™ WebFOCUS® のセキュアな Web 環境でプロシジャを実行するには、セキュリティコンテキストまたはセッション関連 Cookie の継承が必要です。Microsoft Office 製品は、Web ベースのアプリケーションが作成したセキュリティコンテキストまたはセッション関連 Cookie を継承しません。

次のオプションは、ibi™ WebFOCUS® レポートのハイパーリンクが Microsoft Office 製品内で機能するよう Web 環境を構成するために使用されます。

- 匿名アクセスを許可するよう ibi™ WebFOCUS® 認証を構成する。
- SSO を IIS/Tomcat Windows 統合認証とともに使用する。再ネゴシエーションが自動的に発生し、Excel および PowerPoint レポートが正しく表示されます。
- ibi™ WebFOCUS® バージョン 8 以降では、[ログイン] ページの [ユーザを記憶する] 機能を有効にすることができます。エンドユーザが [ユーザを記憶する] 機能を使用した場合、永続 Cookie が使用されます。Microsoft Office 製品のセッション関連情報の処理についての詳細は、「[Error message when clicking hyperlink in Office: "Cannot locate the Internet server or proxy server"](#)」を参照してください。

ibi WebFOCUS の DOC フォーマット

ibi™ WebFOCUS® ドキュメントのスタイルフォーマットおよび印刷可能なフォーマットの標準は、Acrobat PDF フォーマットです。ibi™ WebFOCUS® の PDF フォーマットは、Acrobat PDF ドキュメントを作成します。ibi™ WebFOCUS® DOC フォーマットは、Microsoft Word ドキュメントではなく、文字ベースのファイルを生成します。

推奨読書

[ibi™ WebFOCUS® \[EXL07/XLSX\] フォーマットのサポートされる機能のリリースロードマップ](#)

[ibi™ WebFOCUS® \[PPTX\] フォーマットのサポートされる機能のリリースロードマップ](#)

[Microsoft Windows での ibi™ WebFOCUS® のサポートに関する声明](#)

「[Excel XLSX] フォーマットでレポート出力を保存する」トピックは、ibi™ WebFOCUS® Language リファレンスマニュアルに記載されており、[ibi™ WebFOCUS® ナレッジベース](#)から入手可能です。

「レポート出力の保存と再利用」トピックは、*ibi™ WebFOCUS® Language* リファレンス マニュアルに記載されており、[ibi™ WebFOCUS® ナレッジベース](#)から入手可能です。

Legal and Third-Party Notices

SOME CLOUD SOFTWARE GROUP, INC. (“CLOUD SG”) SOFTWARE AND CLOUD SERVICES EMBED, BUNDLE, OR OTHERWISE INCLUDE OTHER SOFTWARE, INCLUDING OTHER CLOUD SG SOFTWARE (COLLECTIVELY, “INCLUDED SOFTWARE”). USE OF INCLUDED SOFTWARE IS SOLELY TO ENABLE THE FUNCTIONALITY (OR PROVIDE LIMITED ADD-ON FUNCTIONALITY) OF THE LICENSED CLOUD SG SOFTWARE AND/OR CLOUD SERVICES. THE INCLUDED SOFTWARE IS NOT LICENSED TO BE USED OR ACCESSED BY ANY OTHER CLOUD SG SOFTWARE AND/OR CLOUD SERVICES OR FOR ANY OTHER PURPOSE.

USE OF CLOUD SG SOFTWARE AND CLOUD SERVICES IS SUBJECT TO THE TERMS AND CONDITIONS OF AN AGREEMENT FOUND IN EITHER A SEPARATELY EXECUTED AGREEMENT, OR, IF THERE IS NO SUCH SEPARATE AGREEMENT, THE CLICKWRAP END USER AGREEMENT WHICH IS DISPLAYED WHEN ACCESSING, DOWNLOADING, OR INSTALLING THE SOFTWARE OR CLOUD SERVICES (AND WHICH IS DUPLICATED IN THE LICENSE FILE) OR IF THERE IS NO SUCH LICENSE AGREEMENT OR CLICKWRAP END USER AGREEMENT, THE LICENSE(S) LOCATED IN THE “LICENSE” FILE(S) OF THE SOFTWARE. USE OF THIS DOCUMENT IS SUBJECT TO THOSE SAME TERMS AND CONDITIONS, AND YOUR USE HEREOF SHALL CONSTITUTE ACCEPTANCE OF AND AN AGREEMENT TO BE BOUND BY THE SAME.

This document is subject to U.S. and international copyright laws and treaties. No part of this document may be reproduced in any form without the written authorization of Cloud Software Group, Inc.

ibi, the ibi logo, FOCUS, and TIBCO are either registered trademarks or trademarks of Cloud Software Group, Inc. in the United States and/or other countries.

All other product and company names and marks mentioned in this document are the property of their respective owners and are mentioned for identification purposes only. You acknowledge that all rights to these third party marks are the exclusive property of their respective owners. Please refer to Cloud SG’s Third Party Trademark Notices (<https://www.cloud.com/legal>) for more information.

This document includes fonts that are licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1, which is available at: <https://scripts.sil.org/OFL>

Copyright (c) Paul D. Hunt, with Reserved Font Name Source Sans Pro and Source Code Pro.

Cloud SG software may be available on multiple operating systems. However, not all operating system platforms for a specific software version are released at the same time. See the “readme” file for the availability of a specific version of Cloud SG software on a specific operating system platform.

THIS DOCUMENT IS PROVIDED “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT.

THIS DOCUMENT COULD INCLUDE TECHNICAL INACCURACIES OR TYPOGRAPHICAL ERRORS. CHANGES ARE PERIODICALLY ADDED TO THE INFORMATION HEREIN; THESE CHANGES WILL

BE INCORPORATED IN NEW EDITIONS OF THIS DOCUMENT. CLOUD SG MAY MAKE IMPROVEMENTS AND/OR CHANGES IN THE PRODUCT(S), THE PROGRAM(S), AND/OR THE SERVICES DESCRIBED IN THIS DOCUMENT AT ANY TIME WITHOUT NOTICE.

THE CONTENTS OF THIS DOCUMENT MAY BE MODIFIED AND/OR QUALIFIED, DIRECTLY OR INDIRECTLY, BY OTHER DOCUMENTATION WHICH ACCOMPANIES THIS SOFTWARE, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY RELEASE NOTES AND "README" FILES.

This and other products of Cloud SG may be covered by registered patents. For details, please refer to the Virtual Patent Marking document located at <https://www.cloud.com/legal>.

The official version of this product documentation is in English. Any non-English version is solely provided for your convenience and may include machine-translated content. For more information, please refer to the Machine Translation Disclaimer on <https://www.cloud.com/legal>.

Copyright © 2021-2025. Cloud Software Group, Inc. All Rights Reserved.